

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4



ヘッドセットを使っていて困ったときやわからないことがあったときには使うマニュアルです。

ヘッドセットのソフトウェアや“Sony | Headphones Connect”アプリは最新のバージョンをお使いください。詳しくは、下記をご覧ください。

<https://www.sony.jp/support/headphone/>

準備する

Bluetooth機能でできること

音声ガイダンスについて

付属品について

箱の中身を確認する

キャリングケースに収納する

各部の名前

各部の名前

ランプ表示

ヘッドセットを装着する

電源／充電

[ヘッドセットを充電する](#)

[使用可能時間](#)

[充電式電池の残量を確認する](#)

[ヘッドセットの電源を入れる](#)

[ヘッドセットの電源を切る](#)

接続する

[Bluetooth接続をするには](#)

アプリを使ってかんたんに接続する

["Sony | Headphones Connect"アプリを使って接続する](#)

Android搭載スマートフォン

[Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)

[ワンタッチ（NFC）でAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)

[ワンタッチ（NFC）でAndroid搭載スマートフォンとの接続を切る](#)

[ワンタッチ（NFC）で接続機器を切り替える](#)

iPhone（iOS搭載機器）

[iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)

ウォークマン

[ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

[ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)

[機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する（Android搭載モデル）](#)

[ワンタッチ（NFC）でウォークマンと接続する（NFC対応モデル）](#)

[ワンタッチ（NFC）でウォークマンとの接続を切る（NFC対応モデル）](#)

[ワンタッチ（NFC）で接続機器を切り替える](#)

パソコン

[パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）](#)

[パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)

[パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)

[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)

[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)

[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)

他のBluetooth機器

[Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する](#)

[機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)

マルチポイント接続

[音楽プレーヤーとスマートフォン／携帯電話をマルチポイント接続する](#)

[Android搭載スマートフォン2台をマルチポイント接続する](#)

[Android搭載スマートフォンとiPhoneをマルチポイント接続する](#)

[2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)

[Bluetooth接続を切斷するには（使い終わるには）](#)

[付属のヘッドホンケーブルをつないで使う](#)

音楽を聞く

Bluetoothを使って音楽を聞く

[Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)

[音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)

[Bluetooth接続を切斷するには（使い終わるには）](#)

ノイズキャンセリング機能

[ノイズキャンセリング機能とは](#)

[ノイズキャンセリング機能を使う](#)

[装着状態に合わせてノイズキャンセリング機能を最適化する（NCオプティマイザー）](#)

周囲の音を聞く

[音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)

[すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）](#)

[ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーカ・トゥ・チャット）](#)

音質モード

[音質モードについて](#)

[対応コーデックについて](#)

[DSEE Extremeについて](#)

通話する

[電話を受ける](#)

[電話をかける](#)

[通話時にできること](#)

[パソコンでビデオ通話する](#)

[Bluetooth接続を切斷するには（使い終わるには）](#)

音声アシスト機能を使う

[Google アシスタントを使う](#)

[Amazon Alexaを使う](#)

[音声アシスト機能（Googleアプリ）を使う](#)

[音声アシスト機能（Siri）を使う](#)

アプリを使う

[“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

[“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

[“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る](#)

[ソフトウェアアップデートについて](#)

お知らせ

[使用上のご注意](#)

[ライセンスについて](#)

[商標について](#)

[保証書とアフターサービス](#)

[電話・ファックスで問い合わせる](#)

[サポートホームページで調べる](#)

困ったときは

[故障かな？と思ったら](#)

電源／充電

[電源が入らない](#)

[充電できない](#)

[充電時間が長い](#)

[使用時間が短い（電池の持続時間が短い）](#)

[ヘッドセットをパソコンにつないでも充電できない](#)

[スマートフォンの画面にヘッドセットの充電式電池の残量が表示されない](#)

音（音声）

[音が出ない](#)

[音が小さい](#)

[音質が悪い](#)

[音が途切れやすい](#)

[ノイズキャンセリング効果が得られない](#)

Bluetooth接続

[機器登録（ペアリング）できない](#)

[ワンタッチ接続（NFC）が動作しない](#)

[Bluetooth接続ができない](#)

[音がひずむ](#)

[ヘッドセットを操作できない](#)

[通話相手の声が聞こえない](#)

[通話相手からの声が小さい](#)

[タッチセンサーコントロールパネルが誤動作する](#)

[ヘッドセットが誤動作する](#)

ヘッドセットをリセット・初期化する

[リセットする](#)

[初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

Bluetooth機能でできること

ヘッドセットではBLUETOOTH®技術を使って以下のようなことができます。

音楽を聞く

スマートフォンや音楽プレーヤーなどからオーディオ信号を受信し、ワイヤレスで音楽を楽しめます。



通話する

スマートフォンや携帯電話をカバンやポケットの中に入れたまま、ハンズフリーで通話ができます。



5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

音声ガイダンスについて

お買い上げ時の状態では、以下の状況でヘッドセットから日本語の音声ガイダンスが流れます。

“Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、音声ガイダンスの言語の変更やオン／オフの切り替えができます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

- ヘッドセットの電源を入れたとき：「電源が入りました」
- ヘッドセットの電源を切ったとき：「電源を切れます」
- 機器登録（ペアリング）モードにしたとき：「ブルートゥース、ペアリングモード」
- Bluetooth接続されたとき：「ブルートゥース、接続しました」
- 初めてマルチポイント接続する場合、2台目の機器がヘッドセットにBluetooth接続されたとき：「ブルートゥース、2台目のデバイスを接続しました。」 (*)
- マルチポイント接続で、1台目の機器がヘッドセットにBluetooth接続されたとき：「ブルートゥース、デバイス1、接続しました。」 (*)
- マルチポイント接続で、2台目の機器がヘッドセットにBluetooth接続されたとき：「ブルートゥース、デバイス2、接続しました。」 (*)
- Bluetooth接続が切断されたとき：「ブルートゥース、切断しました」
- マルチポイント接続で、1台目の機器のBluetooth接続が切断されたとき：「ブルートゥース、デバイス1、切断しました。」 (*)
- マルチポイント接続で、2台目の機器のBluetooth接続が切断されたとき：「ブルートゥース、デバイス2、切断しました。」 (*)
- マルチポイント接続で3台目の機器を接続し、1台目の機器のBluetooth接続が切断されて、接続が入れ替わったとき：「ブルートゥース、デバイス1、入れ替えました。」 (*)
- マルチポイント接続で3台目の機器を接続し、2台目の機器のBluetooth接続が切断されて、接続が入れ替わったとき：「ブルートゥース、デバイス2、入れ替えました。」 (*)
- 充電式電池の残量を確認したとき：「バッテリー約XX%」（「XX」の数値は大まかな残量を示します。おおよその目安として利用してください。）
- 充電式電池の残量が少なくなったとき：「バッテリーが少なくなりました。充電してください」
- 充電式電池の残量が少なくなって自動的に電源が切れるとき：「ヘッドセットを充電してください、電源を切ります」
- ノイズキャンセリング機能がオンになったとき：「ノイズキャンセリング」
- 外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）がオンになったとき：「アンビエントサウンド」
- ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）がオフになったとき：「外音コントロール、オフ」
- NCオプティマイザーを開始したとき：「最適化を開始」
- NCオプティマイザーが完了したとき：「最適化を完了」
- スピーカー・トゥ・チャットが有効になったとき：「スピーカー・トゥ・チャット有効」
- スピーカー・トゥ・チャットが無効になったとき：「スピーカー・トゥ・チャット無効」
- Googleアシスタントボタンを押しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでGoogleアシスタントが使用できないとき：「Googleアシスタントが接続されていません」
- ソフトウェアアップデート中にGoogleアシスタントが使用できないとき：「Googleアシスタントはアップデート中は使用できません。アップデート完了までお待ちください。」
- Amazon Alexaボタンを押しても、ヘッドセットに接続したスマートフォンでAmazon Alexaが使用できないとき：「モバイルデバイスが接続されていないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」

* “Sony | Headphones Connect”アプリで【2台の機器と同時に接続】をオンにしている場合のみ有効です。

ご注意

- 音声ガイダンスの言語を変更する場合は、約20分間ほど時間がかかります。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化すると、言語も初期状態に戻ります。

- 音声ガイダンスの言語変更やソフトウェアアップデートを行った後に音声ガイダンスが聞こえなくなった場合は、いったんヘッドセットの電源を切り、もう一度電源を入れてください。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

箱の中身を確認する

箱を開けたら、付属品がそろっているか確認してください。万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。

() 内は個数を示します。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

USB Type-C®ケーブル (USB-A - USB-C®) (約20 cm) (1)



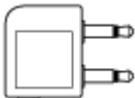
ヘッドホンケーブル (約1.2 m) (1)



キャリングケース (1)



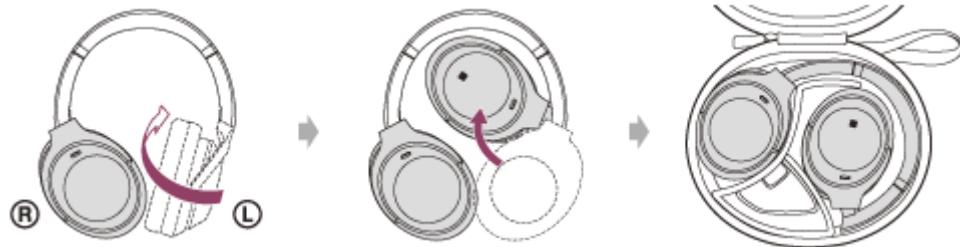
航空機用プラグアダプター (1)



ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

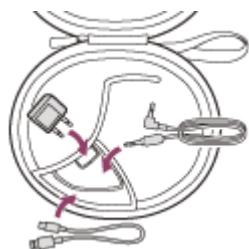
キャリングケースに収納する

使用後は、左右のユニットを回転させてヘッドセットを平らにし、片方のユニットをヘッドバンドに向けて折りたたんで、付属のキャリングケースに収納してください。



ケーブルや航空機用プラグアダプターを収納するには

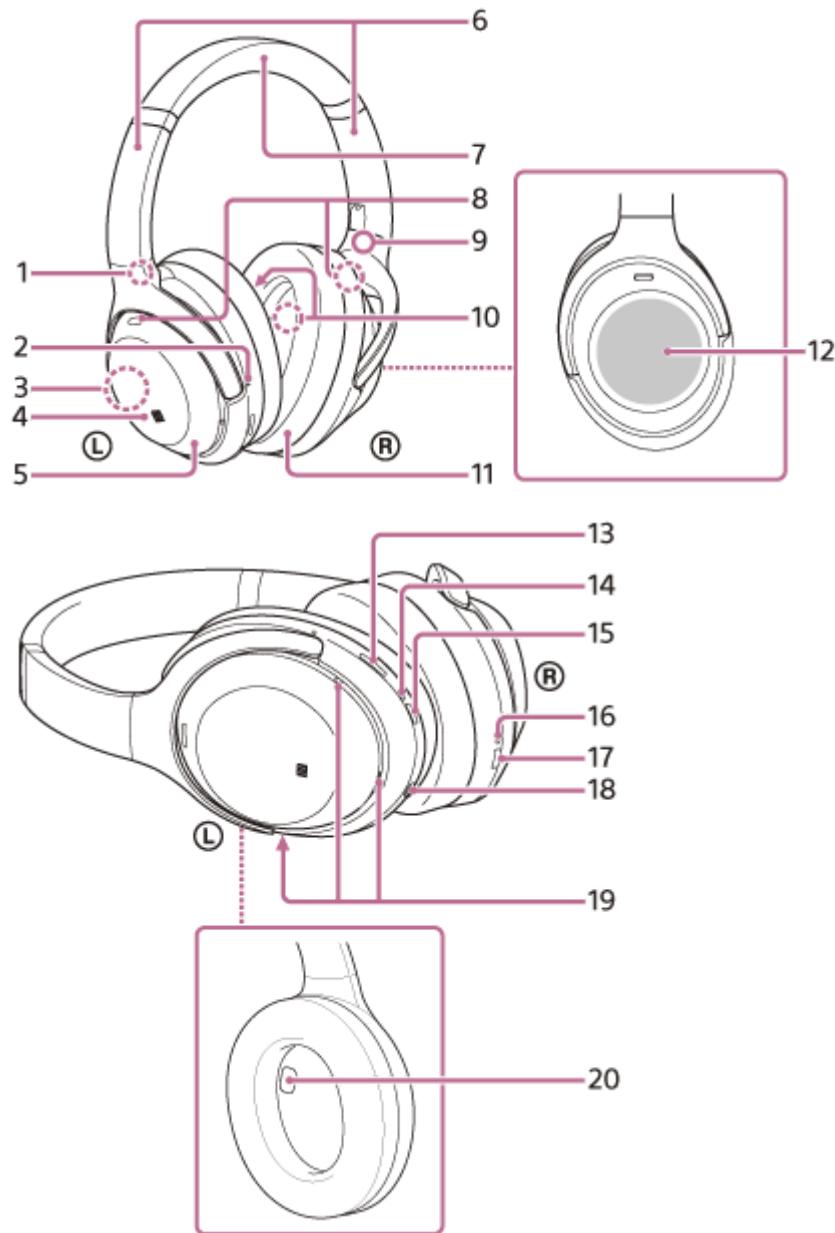
ケーブルや航空機用プラグアダプターは、キャリングケース内の仕切りで区切られたホルダーに収納してください。



5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

各部の名前



1. ① (左) マーク
2. 凸点 (突起)
左ユニットには凸点 (突起) がついています。
3. 内蔵アンテナ
Bluetoothアンテナが内蔵されています。
4. N-Mark
5. 左ユニット
6. スライダー (左、右)
ヘッドバンドの長さを調節します。
7. ヘッドバンド
8. ノイズキャンセリング機能用マイク (外部) (左、右)
ノイズキャンセリング機能使用時のノイズを収音します。
9. ② (右) マーク

10. ノイズキャンセリング機能用マイク（内部）（左、右）
ノイズキャンセリング機能使用時のノイズを収音します。
11. 右ユニット
12. タッチセンサーコントロールパネル
タッチ操作で、Bluetooth接続機器の音楽再生リモートコントロールなどができます。
13. CUSTOM（カスタム）ボタン
ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能を切り替えるときなどに操作します。
14. ランプ（赤／青）
ヘッドセットの電源状態と通信状態を赤と青で表示します。
15. ⓧ（電源）ボタン
16. 充電ランプ（赤）
充電中に赤く点灯します。
17. USB Type-C端子
付属のUSB Type-Cケーブルで、ヘッドセットを別売のUSB ACアダプターを使って電源コンセントにつなぐか、パソコンにつないで充電します。
18. ヘッドホンケーブル入力端子
付属のヘッドホンケーブルを使って音楽プレーヤーなどを接続します。奥まで「カチッ」と音がするまで差し込んでください。プラグが正しく接続されていないと、音が正常に聞こえません。
19. 音声収音用マイク
通話時やスピーカ・トゥ・チャットモード時の声を収音します。
20. 近接センサー
ヘッドセットを耳に装着しているかどうかを感知します。

関連項目

- [ランプ表示](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

ランプ表示

ヘッドセットの動作状態をランプで確認できます。

- : 青色点灯 / ● : 赤色点灯 / - : 消灯

⌚ (電源) ボタンのランプ (青/赤)

電源を入れたとき

- - ● (2回青色点滅)

このとき、充電式電池の残量が10%以下（要充電）の場合、続けて以下のように表示されます。

- - --- - --- (約15秒間遅い赤色点滅を繰り返す)

電源を切るとき

- (約2秒間青色点灯)

充電式電池の残量を表示したとき

- 残量 : 10%より多い

- - ● (2回青色点滅)

- 残量 : 10%以下（要充電）

- - --- - --- (約15秒間遅い赤色点滅を繰り返す)

詳しくは、「[充電式電池の残量を確認する](#)」をご覧ください。

充電式電池の残量が少なくなったとき

- - --- - --- (約15秒間遅い赤色点滅を繰り返す)

Bluetooth機能

- 機器登録（ペアリング）モード

- ● - - ● ● - - (2回ずつ青色点滅を繰り返す)

- 未接続状態

- - - ● - - ● - - ● - - (約1秒間隔で青色点滅を繰り返す)

- 接続完了

- ● ● ● ● ● ● ● (約5秒間速い青色点滅を繰り返す)

- 接続状態

- - - - - ● - - - - (約5秒間隔で青色点滅を繰り返す)

- 着信中

- ● ● ● ● ● ● ● (速い青色点滅を繰り返す)

未接続状態や接続状態の表示は、一定の時間が経過すると自動的に消灯します。なにか操作を行うと、もう一度、一定時間点滅します。また、充電式電池の残量が少なくなると、赤色点滅に変わります。

その他

- ヘッドホンケーブル接続中（電源が入っているとき）

- - - - - ● - - - - (約5秒間隔で青色点滅を繰り返す)

一定の時間が経過すると自動的に消灯します。また、充電式電池の残量が少なくなると、赤色点滅に変わります。

- ソフトウェアアップデート中 - -  - - (遅い青色点滅を繰り返す)
- 初期化完了 (4回青色点滅)
詳しくは、「[初期化する](#)」をご覧ください。

USB Type-C端子の充電ランプ[®] (赤)

充電時

- 充電中 (赤色点灯)
充電が完了すると消灯します。
- 温度異常 - - (2回ずつ赤色点滅を繰り返す)
- 充電異常 - - (遅い赤色点滅を繰り返す)

関連項目

- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [初期化する](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

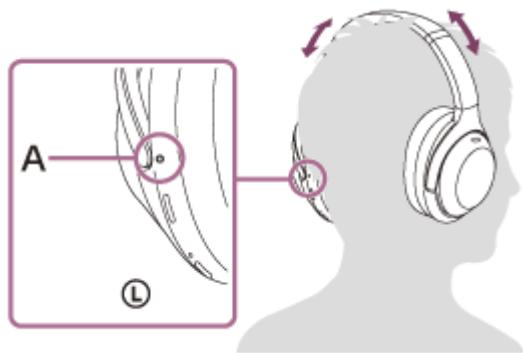
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ヘッドセットを装着する

1 ヘッドセットを耳に装着する。

ヘッドバンドを伸ばして長さを調節します。

Ⓐ (左) マーク表示のあるほうを左耳に、Ⓑ (右) マーク表示のあるほうを右耳にして、ヘッドセットを頭にかけます。Ⓐ (左) マーク側には凸点 (突起) がついています。



Ⓐ : 凸点 (突起)

ヘッドセットを耳に装着したり取り外したりすると

お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを耳に装着したり耳から取り外したりすると、ヘッドセットの左ユニットに内蔵された近接センサーと、左右それぞれのユニットに内蔵された加速度センサーがそれを感知して、自動的にタッチセンサーコントロールパネルの操作や電源オフ、再生の一時停止などを制御します（装着検出）。

ヘッドセットを装着すると

- ヘッドセットの ⌂ (電源) ボタンのランプが消灯します。
- ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルで音楽再生や通話などの操作ができます。

ヘッドセットを取り外すと

- ヘッドセットを耳に装着して音楽を再生しているときに、ヘッドセットを取り外すと、自動的に再生を一時停止します。もう一度耳に装着すると再生を再開します。
- 電池を節約するため、ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。
- 誤動作を防止するため、ヘッドセットを取り外すと、タッチセンサーコントロールパネルをタップしても音楽再生や通話などの操作はできません。
- ヘッドセットを耳に装着して通話しているときに、ヘッドセットを取り外すと、自動的にスマートフォン／携帯電話での通話に切り替わります。もう一度耳に装着すると、ヘッドセットでの通話に切り替わります。

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能や、装着検出による自動電源オフ機能（省電力機能）の設定を変更できます。

ご注意

- 以下のような場合、装着検出が誤動作する場合があります。
 - ヘッドセットを首にかけた状態で、ハウジング内に頸が入る



— 左ユニットのイヤーパッド内部に手を入れる



— ヘッドセットを立てた状態でカバンなどに入れる

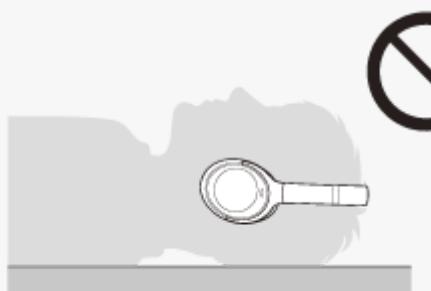


— ヘッドセットを立てた状態でカバンなどに掛ける



- 以下のように、上を向いた状態や下を向いた状態でヘッドセットを装着したり、ヘッドセットを逆さまにして装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルやCUSTOM（カスタム）ボタンを操作できない場合があります。前を向いてヘッドセットを正しく装着するか、 ⌂（電源）ボタンを短く押してください。

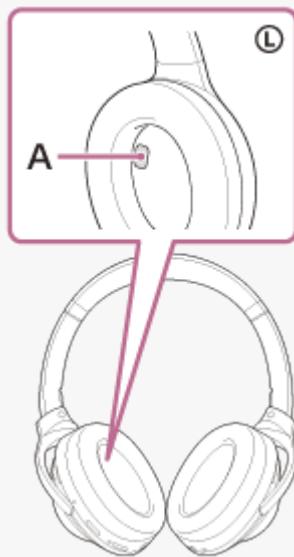
— 寝た状態や上を向いた状態でヘッドセットを装着する



— 下を向いた状態でヘッドセットを装着する



- ヘッドセットを帽子やマフラー、髪の毛などの上から装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルを操作できない場合があります。耳がイヤーパッド内に入るように装着してください。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでいるときは、装着検出は動作しません。
- 装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能は、Bluetooth接続時のみ有効です。
- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能には対応していません。
- ヘッドセットを耳に装着したり取り外したりしたときに通話の音声が切り替わるのは、装着検出による自動電源オフ機能を有効にしている場合のみです。
- 左ハウジング内の近接センサー部に汗などによる蒸れ、結露などで曇りや水滴がついた場合、装着検出が正しく動作しないことがあります。曇りや水滴がついた場合は、曇りや水滴がなくなるまで近接センサー部を上に向けて放置してください。



A : 近接センサー部

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ヘッドセットを充電する

USB端子への水や異物混入のご注意

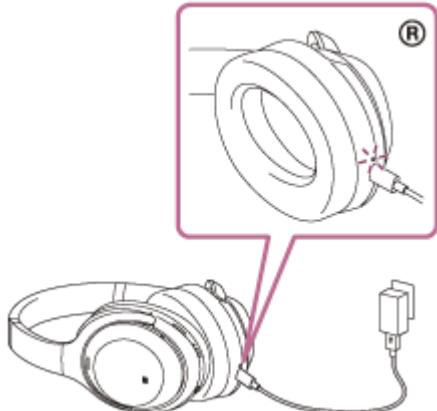
ヘッドセットは防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。特に以下の場合はご注意ください。

- 洗面所などでの使用
水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
- 雨や雪、湿度の多い場所での使用
- 汗をかく状況での使用
濡れた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

ヘッドセットは充電式リチウムイオン電池を内蔵しています。付属のUSB Type-Cケーブルを使って充電してからお使いください。

1 ヘッドセットを電源コンセントにつなぐ。

付属のUSB Type-Cケーブルと別売のUSB ACアダプター（推奨：AC-UD20）を使用します。



- ヘッドセットの充電ランプ（赤）が点灯します。
- 充電は、約3時間（*）で完了し、ランプは自動的に消灯します。

* 充電式電池の残量がない状態から、満充電するのにかかる時間です。使用条件により変わる場合があります。

充電が終了したら、USB Type-Cケーブルを外してください。

USB充電の推奨環境

推奨のUSB ACアダプター

AC-UD20（別売）

市販のUSB ACアダプター

出力電流1.5 A以上が供給可能な市販のUSB ACアダプター

（出力電流が1.5 Aより少ない場合、充電時間が長くなったり、10分充電での音楽再生時間が短くなります。）

パソコン

USB端子が標準装備されたパソコン

- すべてのパソコンで動作を保証するものではありません。
- 自作パソコンは動作保証対象外です。

ヒント

- 付属のUSB Type-Cケーブルを使ってヘッドセットを起動中のパソコンに接続しても充電できます。
- ヘッドセットの電源が入っているときに充電を開始すると、ヘッドセットの電源は自動的に切れます。

ご注意

- 付属のUSB Type-Cケーブル以外では、充電できない場合があります。
- USB ACアダプターの機種によっては、充電できない場合があります。
- ヘッドセットを電源コンセントやパソコンと接続していると、ヘッドセットの電源オンや、Bluetooth機器の登録や接続、音楽再生などの操作は一切できません。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になると充電できなくなります。この場合はパソコンの設定を変更して、充電しなおしてください。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くかかる場合があります。
- ヘッドセットは以下の原因などにより、充電中に異常を検知すると充電ランプ（赤）が点滅します。この場合、もう一度充電温度範囲で充電を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
 - 充電温度範囲（5 °C～35 °C）を超える場合
 - 充電式電池に問題がある場合
- ヘッドセットを長期間お使いにならなかった後に充電を行った場合、充電ランプ（赤）がすぐに点灯しない場合があります。ランプが点灯するまでしばらくお待ちください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、霧、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- ヘッドセットをパソコンと接続するときは付属のUSB Type-Cケーブルのみを使い、必ず直接つないでください。USBハブなどを経由してヘッドセットを接続すると、正しく充電されません。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

使用可能時間

満充電時の使用可能時間は以下の通りです。

Bluetooth接続

連続音楽再生

コーデック	DSEE Extreme™	スピーカー・トゥ・チャット	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
LDAC™	AUTO	オフ	ノイズキャンセリング機能：オン	最大16時間
LDAC	AUTO	オフ	外音取り込み機能：オン	最大14時間
LDAC	AUTO	オフ	オフ	最大20時間
LDAC	オフ	オフ	ノイズキャンセリング機能：オン	最大24時間
LDAC	オフ	オフ	外音取り込み機能：オン	最大18時間
LDAC	オフ	オフ	オフ	最大30時間
AAC	AUTO	オフ	ノイズキャンセリング機能：オン	最大18時間
AAC	AUTO	オフ	外音取り込み機能：オン	最大16時間
AAC	AUTO	オフ	オフ	最大22時間
AAC	オフ	オフ	ノイズキャンセリング機能：オン	最大30時間
AAC	オフ	オフ	外音取り込み機能：オン	最大22時間
AAC	オフ	オフ	オフ	最大38時間
SBC	AUTO	オフ	ノイズキャンセリング機能：オン	最大18時間
SBC	AUTO	オフ	外音取り込み機能：オン	最大16時間
SBC	AUTO	オフ	オフ	最大22時間

コーデック	DSEE Extreme™	スピーカ・トゥ・チャット	ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
SBC	オフ	オフ	ノイズキャンセリング機能：オン	最大30時間
SBC	オフ	オフ	外音取り込み機能：オン	最大22時間
SBC	オフ	オフ	オフ	最大38時間

- 充電10分間で、約5時間の音楽再生が可能です。
- スピーカ・トゥ・チャットを「有効（オン）」に設定している場合、「無効（オフ）」の場合と比較して、使用可能時間が約30%短くなります。

連続通話

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大24時間
外音取り込み機能：オン	最大18時間
オフ	最大30時間

連続待ち受け

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大30時間
外音取り込み機能：オン	最大22時間
オフ	最大200時間

ヘッドホンケーブル接続 電源オン時

ノイズキャンセリング機能／外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）	使用可能時間
ノイズキャンセリング機能：オン	最大22時間
外音取り込み機能：オン	最大18時間
オフ	最大36時間

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、接続しているコーデックの確認やDSEE Extremeの切り替えができます。

ご注意

- 各種機能の設定や使用条件により、上記と実際の時間が異なる場合があります。

関連項目

- 対応コーデックについて
- DSEE Extremeについて
- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

充電式電池の残量を確認する

以下の方法で充電式電池の残量を確認することができます。

ヘッドセットの電源が入っている状態で  (電源) ボタンを押すと、充電式電池の残量を示す音声ガイダンスが流れます。

「バッテリー約XX%」 (「XX」の数値は大まかな残量を示します。)

音声ガイダンスが示す充電式電池の残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

また、ヘッドセットの電源を入れたときに、充電式電池の残量が10%以下の場合はランプ (赤) が約15秒間点滅します。

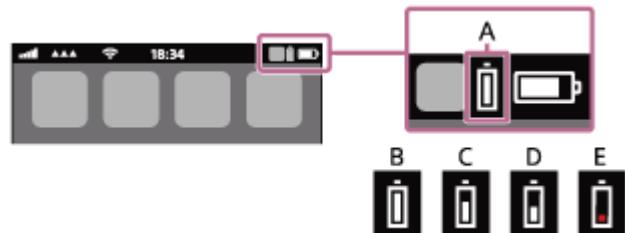
残量が少なくなると

警告音が鳴り、動作中のランプ表示 (青) が赤に変わります。音声ガイダンス「バッテリーが少なくなりました。充電してください」が流れたら、早めに充電してください。

残量が完全になくなると、警告音が鳴り、音声ガイダンス「ヘッドセットを充電してください、電源を切れます」が流れ、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。

iPhone/iPod touchをお使いの場合

iPhone/iPod touchとHFPでBluetooth接続している間は、iPhone/iPod touchの画面にヘッドセットの充電式電池の残量を示すアイコンが表示されます。



A : ヘッドセットの充電式電池の残量

大まかな残量を10段階で表示します。B~Eは表示例です。

B : 100%

C : 70%

D : 50%

E : 10%以下 (要充電)

iOS 9以降の場合は、iPhone/iPod touchのウィジェットにもヘッドセットの充電式電池の残量が表示されます。詳しくは、iPhone/iPod touchの取扱説明書をご覧ください。

なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

Android™搭載スマートフォン (OS 8.1以降) をお使いの場合

Android搭載スマートフォンとHFPでBluetooth接続している場合、[設定] - [機器接続] - [Bluetooth] を選ぶと、接続済みのBluetooth機器表示のところに、ヘッドセットの充電式電池の残量が「100%」、「70%」、「50%」、「10%」のように10段階で表示されます。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。なお、表示される残量は、実際の残量と異なる場合があります。おおよその目安として利用してください。

ヒント

- ヘッドセットの充電式電池の残量は“Sony | Headphones Connect”アプリ上でも確認できます。Android搭載スマートフォン、iPhone/iPod touchとも対応しています。

ご注意

- マルチポイント接続でiPhone/iPod touchまたはAndroid搭載スマートフォンを音楽用（A2DP）のみの接続にすると、充電式電池の残量が正常に表示されません。
- 長い間使わなかったときや、ソフトウェアアップデートの直後などは、充電式電池の残量が正しく表示されないことがあります。この場合は、充電と放電を何度か繰り返すと正しく表示されます。

関連項目

- [ランプ表示](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ヘッドセットの電源を入れる

- 1 ランプ（青）が点滅するまで、（電源）ボタンを約2秒間押したままにする。



関連項目

- [ヘッドセットの電源を切る](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ヘッドセットの電源を切る

- 1 ランプ (青) が消灯するまで、 (電源) ボタンを約2秒間押したままにする。



ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリからヘッドセットの電源を切ることもできます。
- ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、自動的にヘッドセットの電源が切れます。“Sony | Headphones Connect”アプリを使うと、この設定を変更できます。
- ヘッドセットをカバンなどに収納するときは、電源を切ってください。装着検出が誤動作する場合があります。

関連項目

- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

Bluetooth接続をするには

Bluetooth機器に搭載されたBluetooth機能を使って音楽や通話をワイヤレスで楽しめます。

機器登録 (ペアリング)

Bluetooth機能を使うには、あらかじめ、接続する互いの機器を登録しておく必要があります。この登録のことを機器登録 (ペアリング) といいます。

接続したい機器がワントッチ接続 (NFC) に対応していない場合、ヘッドセットと機器を操作して機器登録を行ってください。

機器がワントッチ接続 (NFC) に対応している場合は、ヘッドセットを機器にタッチするだけで機器登録を行いBluetooth接続できます。

機器登録済みの機器と接続する

一度機器登録すれば、再び機器登録する必要はありません。すでにヘッドセットとの機器登録が済んでいる機器それとの方法で接続してください。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

“Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続する

お使いのAndroid搭載スマートフォン／iPhoneで“Sony | Headphones Connect”アプリを起動して、ヘッドセットとスマートフォンやiPhoneを接続できます。詳しくは、“Sony | Headphones Connect”アプリのヘルプガイドをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/



Sony Headphones Connect

ご注意

- “Sony | Headphones Connect”アプリを使って接続したときに、一部のスマートフォンやiPhoneで接続が不安定になる場合があります。その場合は「機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する」「機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する」の手順に従って接続してください。

関連項目

- [機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

Android搭載スマートフォンを機器登録 (ペアリング) してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録 (ペアリング) といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとAndroid搭載スマートフォンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書を準備する。

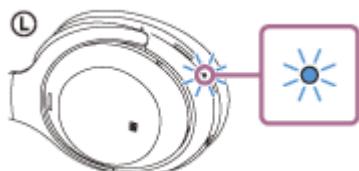
1 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的に機器登録モードになります。この場合は、手順2に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、（電源）ボタンを約7秒間押したままにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返すことを確認してください。音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。



2 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

3 Android搭載スマートフォンでヘッドセットを検索する。

1. [設定] から [機器接続] の [Bluetooth] を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 [WH-1000XM4] をタッチする。

[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。

[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。

[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。

[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度手順1から操作してください。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になります。音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)」をご覧ください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したときヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
- 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
- ヘッドセットを初期化したとき
- すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- Bluetooth接続をするには
- 機器登録（ペアリング）済みのAndroid搭載スマートフォンと接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

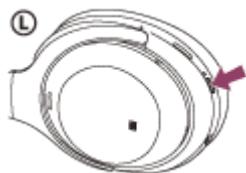
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

機器登録 (ペアリング) 濟みのAndroid搭載スマートフォンと接続する

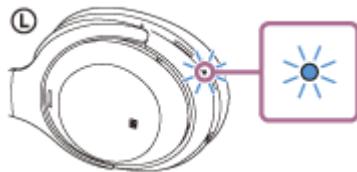
1 Android搭載スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

① (電源) ボタンを約2秒間押したままにします。



音声ガイダンス「電源が入りました」が流れます。ボタンから指を離したあともランプ (青) が点滅していることを確認してください。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。Android搭載スマートフォンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 Android搭載スマートフォンに登録済みの機器を表示する。

1. [設定] の [機器接続] から [Bluetooth] を選ぶ。



2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 [WH-1000XM4] をタッチする。



音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。
[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。
[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。
[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度機器登録をしてください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- スマートフォンと接続できなくなった場合は、スマートフォンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。スマートフォンの操作については、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [Android搭載スマートフォンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ワンタッチ (NFC) でAndroid搭載スマートフォンと接続する

スマートフォンでタッチするだけで、自動的にヘッドセットの電源が入り、機器登録（ペアリング）やBluetooth接続ができます。

対応するスマートフォン

ここでは以下のスマートフォンでのワンタッチ接続 (NFC) について説明します。

- 対応OS : Android 4.1以降
- 対応するおサイフケータイ機能 : NFC (FeliCa)

NFCとは

NFC (Near Field Communication) は、携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能となります。

1 スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 スマートフォンのNFC機能をオンにする。

1. [設定] の [機器接続] から [NFC / おサイフケータイ 設定] を選ぶ。

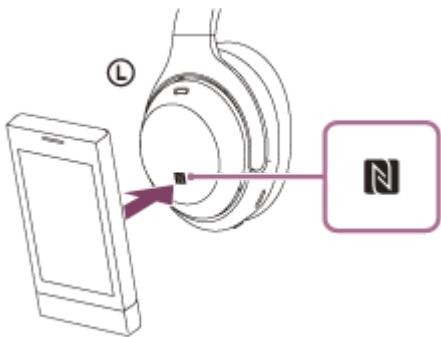


2. [Reader/Writer, P2P] がオンになっていることを確認する。



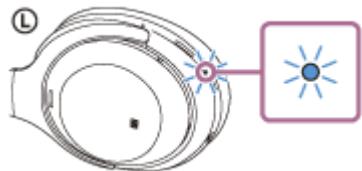
3 スマートフォンをヘッドセットにタッチする。

- ヘッドセットのN-Mark部分に、スマートフォンが反応するまでタッチしたままにします。
- スマートフォン側のタッチ位置については、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。



画面の指示に従って機器登録と接続を完了してください。

ヘッドセットとスマートフォンが接続された状態になると、ヘッドセットのランプ（青）が遅い点滅に変わります。音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。



- 接続を切断するには、もう一度スマートフォンをヘッドセットにタッチします。音声ガイダンス「ブルートゥース、切断しました」が流れます。
- 機器登録済みのスマートフォンは手順3で接続できます。
- スマートフォンがロックされている場合は、スマートフォンの画面ロックを解除します。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
 - スマートフォンの画面をロックしている場合は解除し、N-Mark部分の上でゆっくり動かす。
 - スマートフォンにケースを付けている場合は、ケースを外す。
 - スマートフォンのBluetooth機能がオフになっていることを確認する。
- 他のNFC対応機器に接続中のNFC対応スマートフォンをヘッドセットにタッチすると、ワンタッチ（NFC）でヘッドセットにBluetooth接続を切り替えることができます（乗り換え機能）。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [ワンタッチ（NFC）でAndroid搭載スマートフォンとの接続を切る](#)
- [ワンタッチ（NFC）で接続機器を切り替える](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

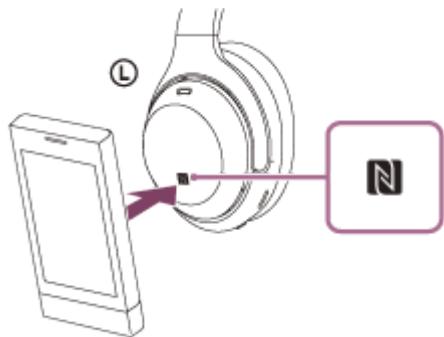
ワンタッチ (NFC) でAndroid搭載スマートフォンとの接続を切る

接続中のスマートフォンでヘッドセットにもう一度タッチすると、接続を切ることができます。

1 スマートフォンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 スマートフォンをヘッドセットにタッチする。

ヘッドセットのN-Mark部分にスマートフォンをタッチします。



音声ガイダンス「ブルートゥース、切断しました」が流れます。

ご注意

- お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。その前に電源を切るには、 (電源) ボタンを約2秒間押したままにします。音声ガイダンス「電源を切れます」が流れ、ランプ(青)が消灯し、ヘッドセットの電源が切れます。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

ワンタッチ (NFC) で接続機器を切り替える

- ヘッドセットが他のBluetooth機器に接続された状態で、NFC対応スマートフォンをヘッドセットにタッチすると、スマートフォンとの接続に切り替えることができます（乗り換え機能）。ただし、Bluetooth対応携帯電話をヘッドセットに接続して通話しているときは、接続を切り替えることはできません。
- ヘッドセットと接続中のNFC対応スマートフォンを、他のNFC対応のBluetoothヘッドセットやBluetoothスピーカーにタッチすると、ヘッドセットとの接続が切断されて、タッチしたBluetooth機器との接続に切り替えることができます。

ご注意

- スマートフォンの画面をロックしている場合は、あらかじめ解除しておいてください。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとiPhoneが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するiPhoneの取扱説明書を準備する。

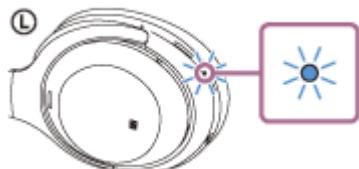
1 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的に機器登録モードになります。この場合は、手順2に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、（電源）ボタンを約7秒間押したままにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返すことを確認してください。音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。



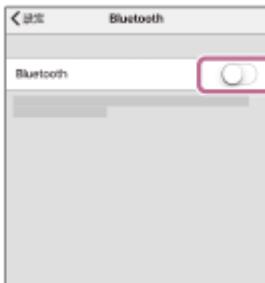
2 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

3 iPhoneでヘッドセットを検索する。

1. [設定] を選ぶ。
2. [Bluetooth] をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4 [WH-1000XM4] をタッチする。

[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。
[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。
[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。
[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度手順1から操作してください。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとiPhoneが接続された状態になります。音声ガイド「ブルートウース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)」をご覧ください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのiPhoneと接続する](#)

- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- 初期化する

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

機器登録 (ペアリング) 済みのiPhoneと接続する

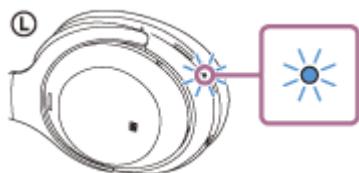
1 iPhoneの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

① (電源) ボタンを約2秒間押したままにします。



音声ガイダンス「電源が入りました」が流れます。ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅していることを確認してください。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。iPhoneで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 iPhoneに登録済みの機器を表示する。

1. [設定] を選ぶ。
2. [Bluetooth] をタッチする。



3. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。



4

[WH-1000XM4] をタッチする。



音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度機器登録をしてください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- iPhoneと接続できなくなった場合は、iPhoneでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しないでください。iPhoneの操作については、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [iPhoneを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するウォークマンの取扱説明書を準備する。

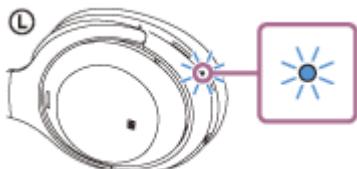
1 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的に機器登録モードになります。この場合は、手順2に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、（電源）ボタンを約7秒間押したままにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返すことを確認してください。音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。



2 ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。

3 ライブラリ画面から [(オプション/設定)] - [設定] - [Bluetooth] - [オーディオ機器接続/登録] の順に選ぶ。

4 (1) [オン] になっていることを確認し、(2) [機器登録 (ペアリング)] を選んでから、(3) [WH-1000XM4] を選ぶ。

[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。

[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。

[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。

[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度手順1から操作してください。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとウォークマンが接続された状態になります。音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する](#)」をご覧ください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、もう一度手順1から操作を行ってください。
 - 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したときヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
- すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとウォークマンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するウォークマンの取扱説明書を準備する。

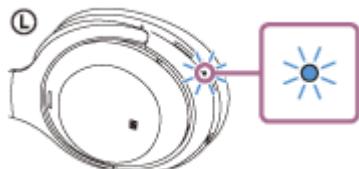
1 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的に機器登録モードになります。この場合は、手順2に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、（電源）ボタンを約7秒間押したままにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返すことを確認してください。音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。



2 ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。

3 ウォークマンでヘッドセットを検索する。

1. [ 設定] - [接続済みの端末] - [新しいデバイスとペア設定する] を選ぶ。



4 [WH-1000XM4] をタッチして、[ペア設定する] を選ぶ。

[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。
[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。
[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。
[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度手順1から操作してください。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとウォークマンが接続された状態になります。音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する（Android搭載モデル）](#)」をご覧ください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、もう一度手順1から操作を行ってください。
 - 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのウォークマンと接続する（Android搭載モデル）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

機器登録 (ペアリング) 濟みのウォークマンと接続する

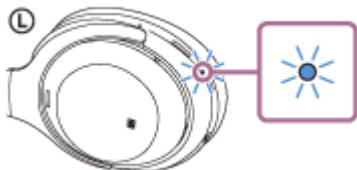
1 ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

① (電源) ボタンを約2秒間押したままにします。



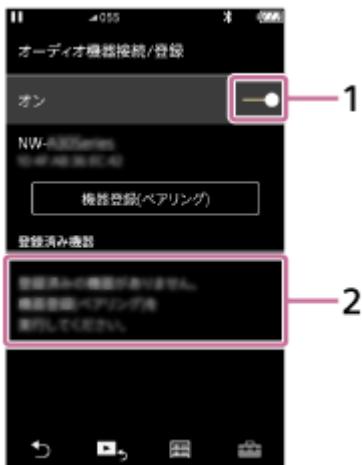
音声ガイダンス「電源が入りました」が流れます。ボタンから指を離したあともランプ (青) が点滅していることを確認してください。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。ウォークマンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 ライブラリ画面から【(オプション/設定)】 - 【(設定)】 - 【Bluetooth】 - 【オーディオ機器接続/登録】の順に選ぶ。

4 (1) 【オン】になっていることを確認し、(2) 【WH-1000XM4】を選ぶ。



音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。
[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。
[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。
[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度機器登録をしてください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- ウォークマンと接続できなくなった場合は、ウォークマンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。ウォークマンの操作については、ウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

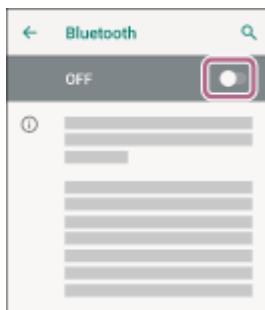
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

機器登録 (ペアリング) 濟みのウォークマンと接続する (Android搭載モデル)

1 ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ウォークマンのBluetooth機能をオンにする。

1. [設定] - [接続済みの端末] - [接続の設定] - [Bluetooth] を選ぶ。
2. スイッチボタンをタッチしてBluetooth機能をオンにする。

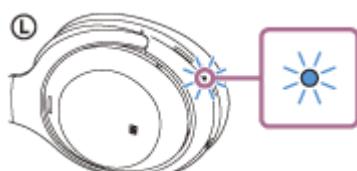


3 ヘッドセットの電源を入れる。

① (電源) ボタンを約2秒間押したままにします。



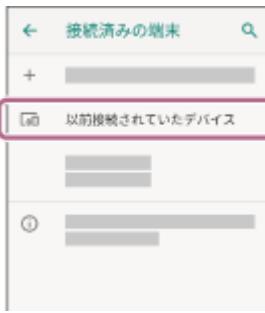
音声ガイダンス「電源が入りました」が流れます。ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅していることを確認してください。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。ウォークマンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順4に進んでください。

4 ウォークマンに登録済みの機器を表示する。

1. [設定] - [接続済みの端末] - [以前接続されていたデバイス] を選ぶ。



- 5 [WH-1000XM4] の横にある (設定) アイコンをタッチして [接続] を選ぶ。



音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度機器登録をしてください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- ウォークマンと接続できなくなった場合は、ウォークマンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。ウォークマンの操作については、ウォークマンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [ウォークマンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Android搭載モデル）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ワンタッチ (NFC) でウォークマンと接続する (NFC対応モデル)

NFC機能対応のウォークマンでタッチするだけで、自動的にヘッドセットの電源が入り、機器登録（ペアリング）やBluetooth接続ができます。

NFCとは

NFC (Near Field Communication) は、携帯電話やICタグなど、さまざまな機器間で近距離無線通信を行うための技術です。指定の場所に「タッチする」だけで、簡単にデータ通信が可能となります。

1 ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。

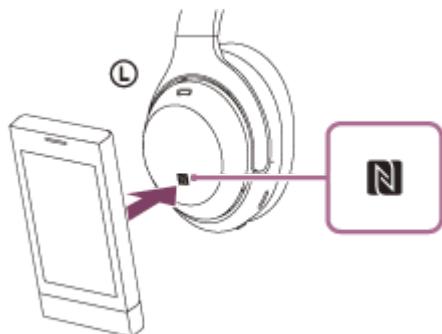
2 ウォークマンのNFC機能をオンにする。

1. [(オプション/設定)] - [設定] をタッチする。
2. [Bluetooth] の [NFC] にチェックマークが入っていることを確認する。
チェックが入っていない場合はタッチしてチェックマークを入れる。



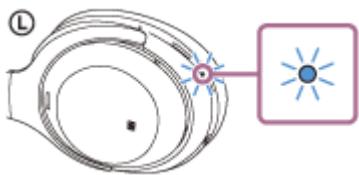
3 ウォークマンをヘッドセットにタッチする。

- ヘッドセットのN-Mark部分に、ウォークマンが反応するまでタッチしたままにします。
- ウォークマン側のタッチ位置については、お使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。



画面の指示に従って機器登録と接続を完了してください。

ヘッドセットとウォークマンが接続された状態になると、ヘッドセットのランプ（青）が遅い点滅に変わります。音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。



- 接続を切断するには、もう一度ウォークマンをヘッドセットにタッチします。音声ガイダンス「ブルートゥース、切断しました」が流れます。
- 機器登録済みのウォークマンは手順3で接続できます。
- ウォークマンがロックされている場合は、ウォークマンの画面ロックを解除します。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくはお使いのウォークマンの取扱説明書をご覧ください。
- 接続がうまくいかないときは次のことを行ってください。
 - ウォークマンの画面をロックしている場合は解除し、N-Mark部分の上でゆっくり動かす。
 - ウォークマンにケースを付けている場合は、ケースを外す。
 - ウォークマンのBluetooth機能がオンになっていることを確認する。
- 他のNFC対応機器に接続中のNFC対応ウォークマンをヘッドセットにタッチすると、ワンタッチ（NFC）でヘッドセットにBluetooth接続を切り替えることができます（乗り換え機能）。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [ワンタッチ（NFC）でウォークマンとの接続を切る（NFC対応モデル）](#)
- [ワンタッチ（NFC）で接続機器を切り替える](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

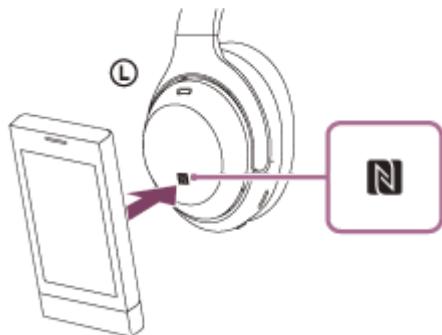
ワンタッチ (NFC) でウォークマンとの接続を切る (NFC対応モデル)

接続中のウォークマンでヘッドセットにもう一度タッチすると、接続を切ることができます。

1 ウォークマンの画面をロックしている場合は、解除する。

2 ウォークマンをヘッドセットにタッチする。

ヘッドセットのN-Mark部分にウォークマンをタッチします。



音声ガイダンス「ブルートゥース、切断しました」が流れます。

ご注意

- お買い上げ時の設定では、ヘッドセットを装着しないまま15分経過すると、ヘッドセットの電源が自動的に切れます。その前に電源を切るには、**（電源）**ボタンを約2秒間押したままにします。音声ガイダンス「電源を切れます」が流れ、ランプ（青）が消灯し、ヘッドセットの電源が切れます。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

ワンタッチ (NFC) で接続機器を切り替える

- ヘッドセットが他のBluetooth機器に接続された状態で、NFC対応ウォークマンをヘッドセットにタッチすると、タッチしたウォークマンとの接続に切り替えることができます（乗り換え機能）。ただし、Bluetooth対応携帯電話をヘッドセットに接続して通話しているときは、接続を切り替えることはできません。
- ヘッドセットと接続中のNFC対応ウォークマンを、他のNFC対応のBluetoothヘッドセットやBluetoothスピーカーにタッチすると、ヘッドセットとの接続が切断されて、タッチしたBluetooth機器との接続に切り替えることができます。

ご注意

- ウォークマンの画面をロックしている場合は、あらかじめ解除しておいてください。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

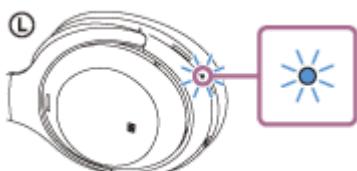
① ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的に機器登録モードになります。この場合は、手順 ② に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、（電源）ボタンを約7秒間押したままにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返すことを確認してください。音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。



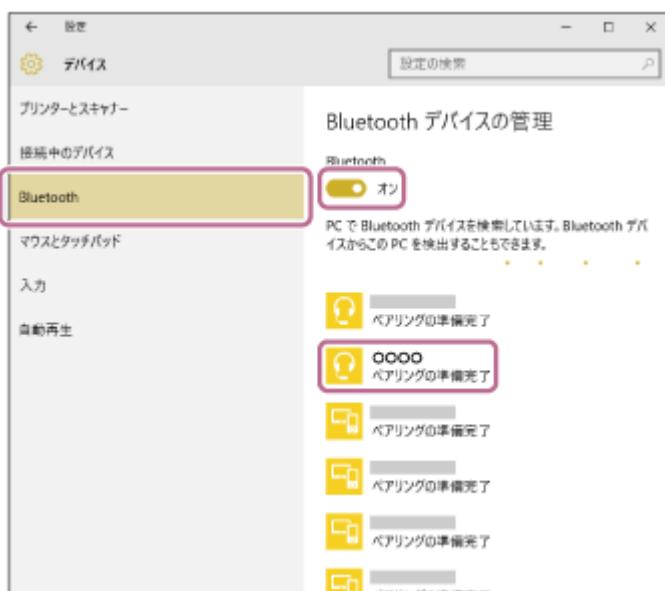
② パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

③ パソコンでヘッドセットを登録する。

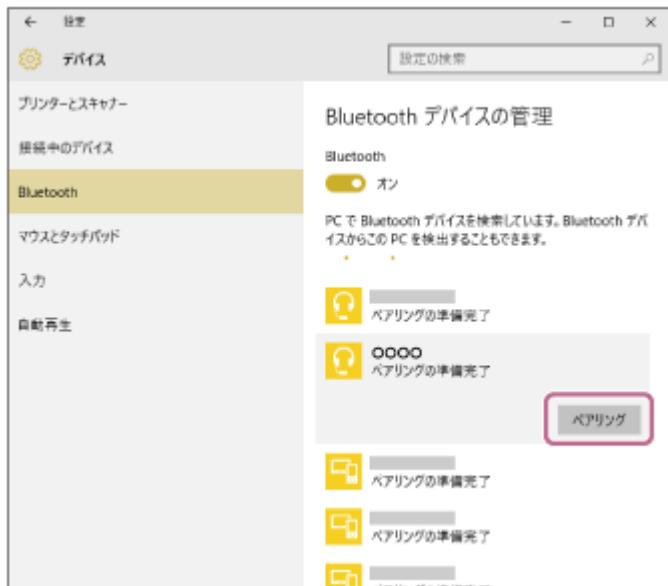
1. [スタート] ボタン - [設定] の順にクリックする。
2. [デバイス] をクリックする。



3. [Bluetooth] タブ – [Bluetooth] スイッチの順にクリックしてBluetooth機能をオンにし、[WH-1000XM4] を選ぶ。
 [WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。
 [LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。
 [WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。
 [WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度手順 ① から操作してください。



4. [ペアリング] をクリックする。



パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。音声ガイダンス「ブルートウース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)」をご覧ください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、もう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
 - ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
 - すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 10）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

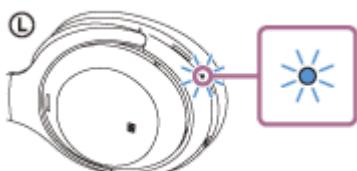
① ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的に機器登録モードになります。この場合は、手順 ② に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、（電源）ボタンを約7秒間押したままにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返すことを確認してください。音声ガイド「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。



② パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

③ パソコンでヘッドセットを登録する。

1. 画面の右上隅にマウスポインターを合わせて（タッチパネルの場合は画面の右端からスワイプして）、表示されたチャームから【設定】を選ぶ。



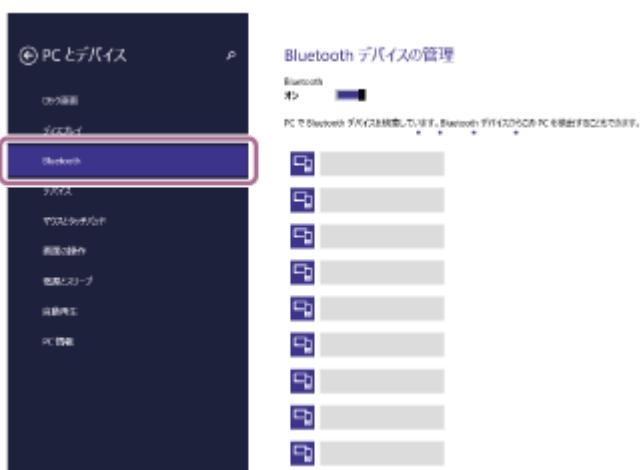
2. [設定] チャームから [PC設定の変更] を選ぶ。



3. [PC設定] 画面から [PCとデバイス] を選ぶ。



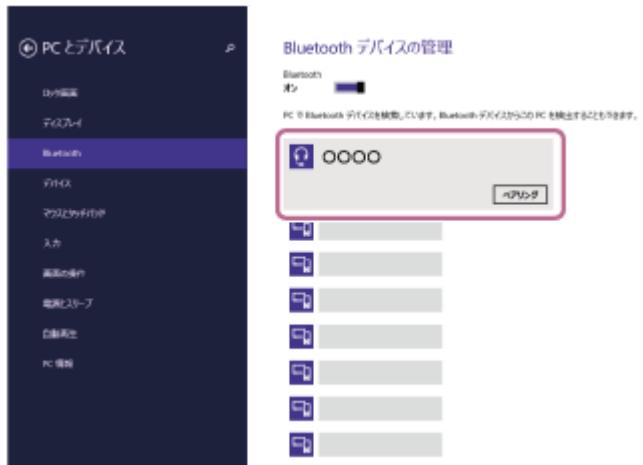
4. [Bluetooth] を選ぶ。



5. [WH-1000XM4] を選び、[ペアリング] を選ぶ。

[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。
[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。
[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。

[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度手順 ① から操作してください。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。音声ガイダンス「ブルートウース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「[機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)」をご覧ください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、もう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
 - ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
 - すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Windows 8.1）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

対応OS

macOS（バージョン10.10以降）

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- パソコンに音楽再生の接続（A2DP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- パソコンのビデオ通話用アプリを使用する場合は、パソコンに通話の接続（HFP/HSP）対応のBluetooth機能が搭載されている。
- ヘッドセットとパソコンが1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するパソコンの取扱説明書を準備する。
- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが  「消音（OFF）」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

パソコンのスピーカーがONモードの状態



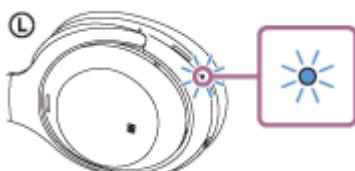
1 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的に機器登録モードになります。この場合は、手順 ② に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、（電源）ボタンを約7秒間押したままにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返すことを確認してください。音声ガイド「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。



2 パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態になっている場合は、解除する。

3 パソコンでヘッドセットを登録する。

1. 画面右下のタスクバーで [(システム環境設定)] - [Bluetooth] の順に選ぶ。



2. [Bluetooth] 画面から [WH-1000XM4] を選び、[接続] をクリックする。

[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。

[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。

[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。

[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度手順 ① から操作してください。



パスキー (*) を要求された場合は「0000」を入力してください。

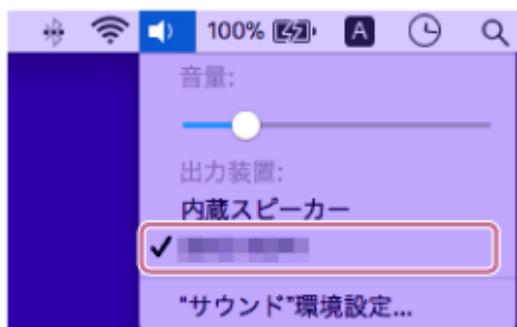
互いの機器への登録が完了し、ヘッドセットとパソコンが接続された状態になります。音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

接続されない場合は、「機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）」をご覧ください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

- 4 画面右上のスピーカーアイコンをクリックし、[WH-1000XM4] を選ぶ。

パソコンの音楽再生などをお楽しみいただけます。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、もう一度手順 ① から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
 - ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
 - すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

機器登録 (ペアリング) 濟みのパソコンと接続する (Windows 10)

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

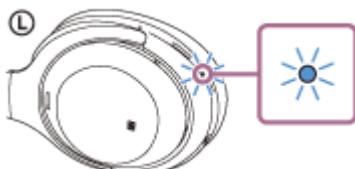
1 パソコンがスタンバイ (スリープ) や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

⌚ (電源) ボタンを約2秒間押したままにします。



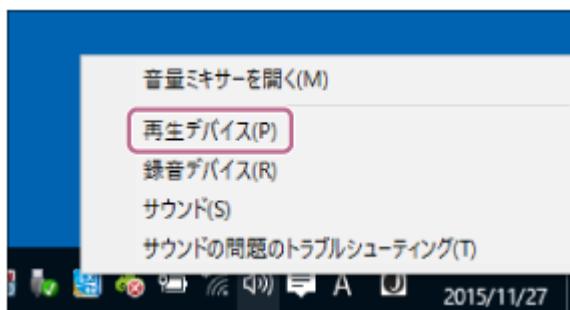
音声ガイダンス「電源が入りました」が流れます。ボタンから指を離したあともランプ (青) が点滅していることを確認してください。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. ツールバーのスピーカーアイコンを右クリックして [再生デバイス] を選ぶ。



2. [WH-1000XM4] を右クリックする。

[サウンド] 画面に [WH-1000XM4] が表示されていない場合は、[サウンド] 画面上で右クリックし、[切断されているデバイスの表示] にチェックを入れてください。



3. 表示されたメニューから [接続] を選ぶ。



接続が完了します。音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度機器登録をしてください。
- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続 (A2DP) が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 10）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

機器登録 (ペアリング) 濟みのパソコンと接続する (Windows 8.1)

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

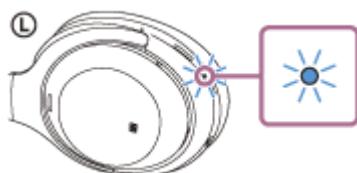
1 パソコンがスタンバイ (スリープ) や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

⌚ (電源) ボタンを約2秒間押したままにします。



音声ガイダンス「電源が入りました」が流れます。ボタンから指を離したあともランプ (青) が点滅していることを確認してください。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 パソコンでヘッドセットを選ぶ。

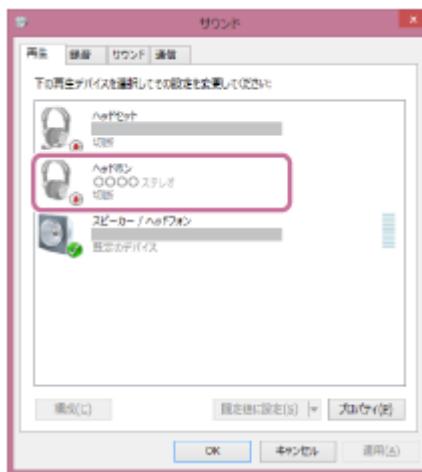
- スタート画面から、[デスクトップ] を選ぶ。
- [スタート] ボタンを右クリックして、ポップアップメニューから [コントロールパネル] を選ぶ。
- [ハードウェアとサウンド] - [サウンド] の順に選ぶ。



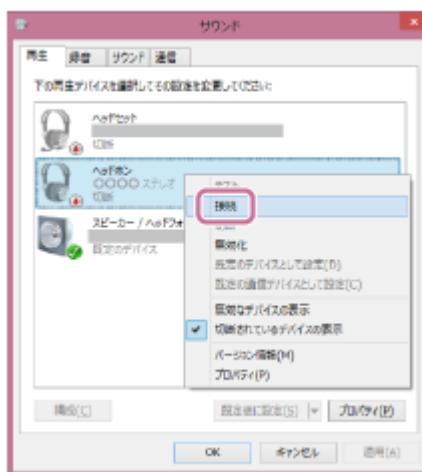


4. [WH-1000XM4] を右クリックする。

[サウンド] 画面に [WH-1000XM4] が表示されていない場合は、[サウンド] 画面上で右クリックし、[切断されているデバイスの表示] にチェックを入れてください。



5. 表示されたメニューから [接続] を選ぶ。



接続が完了しました。音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度機器登録をしてください。
- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Windows 8.1）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

機器登録 (ペアリング) 濟みのパソコンと接続する (Mac)

対応OS

macOS (バージョン10.10以降)

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、内蔵のBluetoothアダプターをオンにする必要があります。Bluetoothアダプターをオンにする方法や、お使いのパソコンがBluetoothアダプターを内蔵しているかご不明な場合は、パソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。
- パソコンのスピーカーをONモードに設定する。
パソコンのスピーカーが  「消音 (OFF)」モードになっていると、ヘッドセットからも音が出ません。

パソコンのスピーカーがONモードの状態



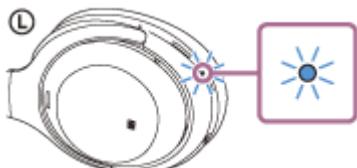
1 パソコンがスタンバイ (スリープ) や休止状態になっている場合は、解除する。

2 ヘッドセットの電源を入れる。

⌚ (電源) ボタンを約2秒間押したままにします。



音声ガイダンス「電源が入りました」が流れます。ボタンから指を離したあともランプ (青) が点滅していることを確認してください。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。パソコンで接続状態を確認してください。接続されていないときは手順3に進んでください。

3 パソコンでヘッドセットを選ぶ。

1. 画面右下のタスクバーで [ (システム環境設定)] - [Bluetooth] の順に選ぶ。



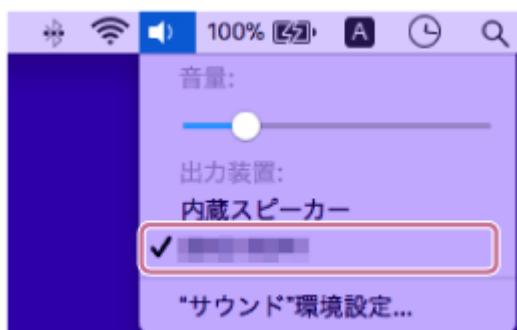
2. [Bluetooth] 画面で、パソコンのControlボタンを押しながら [WH-1000XM4] をクリックし、ポップアップメニューから [接続] を選ぶ。



音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

4 画面右上のスピーカーアイコンをクリックし、[WH-1000XM4] を選ぶ。

パソコンの音楽再生などをお楽しみいただけます。



ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度機器登録をしてください。

- 音楽再生時の音質がよくない場合は、パソコンの設定で音楽再生の接続（A2DP）が有効になっていることを確認してください。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- パソコンと接続できなくなった場合は、パソコンでヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録（ペアリング）してから接続する（Mac）](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切斷するには（使い終わるには）](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する

接続したい機器を登録しておく操作を機器登録（ペアリング）といいます。初めてヘッドセットと組み合わせて使う場合は、最初に機器を登録してください。

操作をはじめる前に、以下を確認してください。

- ヘッドセットとBluetooth機器が1 m以内に置かれている。
- 充電式電池が充分に充電されている。
- 接続するBluetooth機器の取扱説明書を準備する。

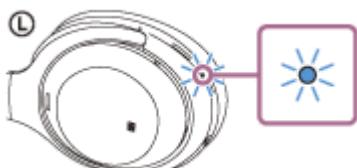
1 ヘッドセットを機器登録モードにする。

お買い上げ後に初めて機器登録するときや、ヘッドセットを初期化した後（ヘッドセットに機器登録情報がない場合）は、ヘッドセットの電源を入れると自動的に機器登録モードになります。この場合は、手順2に進んでください。

2台目以降の機器登録を行う場合（ヘッドセットに他の機器登録情報がある場合）は、（電源）ボタンを約7秒間押したままにします。



ランプ（青）が2回ずつ点滅を繰り返すことを確認してください。音声ガイダンス「ブルートゥース、ペアリングモード」が流れます。



2 Bluetooth機器で機器登録操作を行い、ヘッドセットを検索する。

Bluetooth機器の画面の検出した機器の一覧に「WH-1000XM4」と表示されます。

「WH-1000XM4」と「LE_WH-1000XM4」が表示される場合は、「WH-1000XM4」を選んでください。

「LE_WH-1000XM4」が先に表示されますが、「WH-1000XM4」が表示されるまでお待ちください。

「WH-1000XM4」が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。

「WH-1000XM4」が表示されない場合は、もう一度手順1から操作してください。

3 Bluetooth機器の画面に表示されている「WH-1000XM4」を選び、互いの機器を登録する。

パスキー（*）を要求された場合は「0000」を入力してください。

* パスキーは、パスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。

4 Bluetooth機器でBluetooth接続操作を行う。

機器登録が完了すると自動的にヘッドセットと接続される機器もあります。音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機器登録したBluetooth機器の情報をすべて削除するには、「[初期化する](#)」をご覧ください。

ご注意

- 5分以内に機器登録を完了しなかった場合、ヘッドセットの機器登録モードは解除されます。この場合、もう一度手順1から操作を行ってください。
- 一度Bluetooth機器を登録すれば再び登録する必要はありませんが、以下の場合はもう一度機器登録が必要です。
 - 修理を行ったなど、機器登録情報が削除されてしまったとき
 - 9台目の機器を登録したとき
ヘッドセットは合計8台までの機器を登録することができます。8台分を機器登録したあと新たな機器を登録すると、8台の中で接続した日時が最も古い機器登録情報が、新たな機器の情報で上書きされます。
 - 接続相手のBluetooth機器からヘッドセットとの接続履歴が削除されたとき
 - ヘッドセットを初期化したとき
すべての機器登録情報が削除されます。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してももう一度機器登録をしてください。
- ヘッドセットは複数の機器を登録できますが、それらを同時に再生することはできません。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

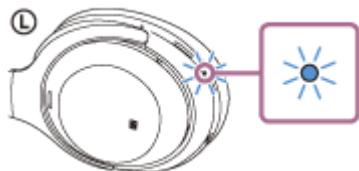
機器登録（ペアリング）済みのBluetooth機器と接続する

1 ヘッドセットの電源を入れる。

（電源）ボタンを約2秒間押したままにします。



音声ガイダンス「電源が入りました」が流れます。ボタンから指を離したあともランプ（青）が点滅していることを確認してください。



前回接続した機器に自動的に接続したときは、音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。Bluetooth機器で接続状態を確認してください。接続されていないときは手順2に進んでください。

2 Bluetooth機器を操作してBluetooth接続する。

Bluetooth機器の操作については、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。接続すると、音声ガイダンス「ブルートゥース、接続しました」が流れます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのBluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- 接続するとき、[WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。[WH-1000XM4] が表示されない場合は、もう一度機器登録をしてください。
- 近くに前回接続していたBluetooth機器があるときは、ヘッドセットの電源を入れただけで自動的に接続されることがあります。その場合は、前回接続していた機器のBluetooth機能をオフにするか電源を切ってください。
- Bluetooth機器と接続できなくなった場合は、Bluetooth機器でヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報をいったん削除してから登録しなおしてください。Bluetooth機器の操作については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

関連項目

- Bluetooth接続をするには

- Bluetooth機器を機器登録（ペアリング）してから接続する
- Bluetooth接続した機器の音楽を聞く
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

音楽プレーヤーとスマートフォン／携帯電話をマルチポイント接続する

マルチポイントとは、ヘッドセットに2台のBluetooth機器を接続して、1台を音楽再生用（A2DP接続）、もう1台を通話用（HFP/HSP接続）として使い分ける機能です。

音楽プレーヤーを音楽再生用のみに、スマートフォンを通話用のみに使い分けたいときは、それぞれをヘッドセットにマルチポイント接続してください。接続する機器はBluetooth機能に対応している必要があります。

1 ヘッドセットと、音楽プレーヤー、スマートフォン／携帯電話とを、それぞれ機器登録（ペアリング）しておく。

2 ヘッドセットと音楽プレーヤーを接続する。

音楽プレーヤーを操作して、ヘッドセットとBluetooth接続してください。

3 ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話を接続する。

スマートフォン／携帯電話を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続してください。

ご注意

- 前回接続したスマートフォンや携帯電話の場合、ヘッドセットの電源を入れると自動的にHFPまたはHSP接続され、同時にA2DP接続される場合があります。その場合はスマートフォン／携帯電話を操作して接続を切断した後で、手順2から接続を行ってください。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

Android搭載スマートフォン2台をマルチポイント接続する

ヘッドセットとスマートフォンを接続すると、通常、音楽再生機能と通話機能が同時に接続されます。2台のスマートフォンを、音楽用、通話用それぞれでマルチポイント接続するには、スマートフォンを操作して一方の機能のみに接続するように設定してください。

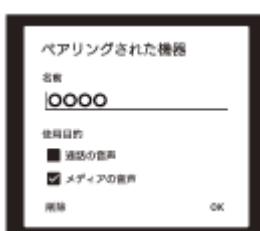
- 1 2台のスマートフォンとヘッドセットをそれぞれ機器登録（ペアリング）しておく。
- 2 1台のスマートフォンを操作してヘッドセットとBluetooth接続する。
- 3 接続しているスマートフォンを操作して、【通話の音声】（HFP）または【メディアの音声】（A2DP）のいずれかのチェックを外す。

操作例：メディアの音声（A2DP）のみの接続にする場合

[設定] → [機器接続] → [Bluetooth] → [WH-1000XM4] の横の設定マークをタッチする。



[ペアリングされた機器] 画面で【通話の音声】のチェックを外す。



- 4 スマートフォンを操作してBluetooth接続を切断する。
 - 5 もう1台のスマートフォンを操作してヘッドセットとBluetooth接続する。
 - 6 手順3と同様の操作で、手順3でチェックを外さなかった機能のチェックを外す。
 - 7 1台目のスマートフォンを操作してヘッドセットとBluetooth接続する。
- 2台のスマートフォンがそれぞれチェックを入れている機能で接続されます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- マルチポイント接続した場合、音楽用（A2DP）で接続している機器にはヘッドセットの充電式電池の残量が正常に表示されません。

関連項目

- [充電式電池の残量を確認する](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

Android搭載スマートフォンとiPhoneをマルチポイント接続する

ヘッドセットとスマートフォンを接続すると、通常、音楽再生機能と通話機能が同時に接続されます。

スマートフォンとiPhoneを音楽用、通話用それぞれでマルチポイント接続するには、スマートフォンを一方の機能のみに接続するように設定します。先にスマートフォンを接続してからiPhoneを接続します。

iPhoneでは一方の機能のみに接続する設定ができません。

- 1 あらかじめスマートフォン／iPhoneとヘッドセットをそれぞれ機器登録（ペアリング）しておく。
- 2 スマートフォンを操作してヘッドセットとBluetooth接続する。
- 3 接続しているスマートフォンを操作して、【通話の音声】（HFP）または【メディアの音声】（A2DP）のいずれかのチェックを外す。

操作例：メディアの音声（A2DP）のみの接続にする場合

【設定】→【機器接続】→【Bluetooth】→【WH-1000XM4】の横の設定マークをタッチする。



【ペアリングされた機器】画面で【通話の音声】のチェックを外す。



- 4 iPhoneを操作してヘッドセットとBluetooth接続する。

iPhoneは手順3でチェックを外した機能で接続されます。

ヒント

- 上記の操作は一例です。詳しくは、お使いのAndroid搭載スマートフォンやiPhoneの取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- マルチポイント接続した場合、音楽用（A2DP）で接続している機器にはヘッドセットの充電式電池の残量が正常に表示されません。

関連項目

- [充電式電池の残量を確認する](#)

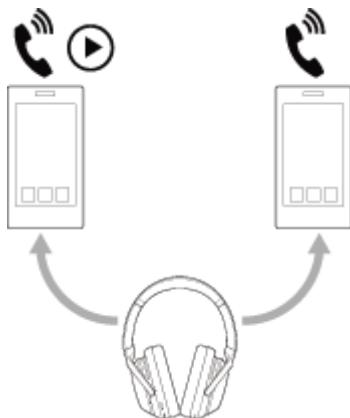
5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

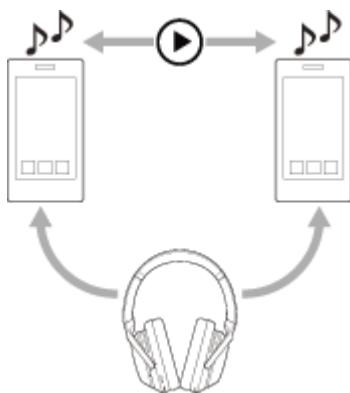
2台の機器と同時に接続する (マルチポイント接続)

“Sony | Headphones Connect”アプリで [2台の機器と同時に接続] をオンにすると、ヘッドセットに2台の機器を同時にBluetooth接続して、以下のようなことができます。

- 2台のスマートフォンの着信を待ち受ける
ヘッドセットで一方のスマートフォンで再生した音楽を聞き、両方のスマートフォンの着信を待ち受けし、着信があれば通話できます。



- 2台の機器の音楽再生を切り替える
一方の機器からの音楽再生を、Bluetooth接続をし直すことなく、もう一方の機器からの再生に切り替えることができます。



2台の機器を同時にBluetooth接続する

接続する前に、2台の機器のうちいずれか一方に“Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされていることを確認してください。

- 1 ヘッドセットと2台の機器を、それぞれ機器登録 (ペアリング) する。
- 2 “Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされている機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。
- 3 “Sony | Headphones Connect”アプリで、[2台の機器と同時に接続] をオンにする。
- 4 2台目の機器を操作して、ヘッドセットとBluetooth接続する。

2台の機器をBluetooth接続した状態で、機器登録（ペアリング）済みの別の機器をBluetooth接続することができます。

3台目の機器を操作してヘッドセットとBluetooth接続しようとすると、最後に音楽再生していた機器のBluetooth接続は維持され、もう一方の機器とのBluetooth接続が切断されます。その後、3台目の機器がヘッドセットとBluetooth接続されます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での音楽再生

- ヘッドセットを操作して音楽を再生する場合、最後に再生していた機器からの音楽再生になります。
 - もう一方の機器から音楽を再生したいときは、音楽再生している機器の再生を停止し、もう一方の機器を操作して音楽を再生します。
- 1台目の機器で音楽を再生している状態で、2台目の機器を操作して再生を始めても、ヘッドセットからは1台目からの音楽が継続して聞こえます。この状態で1台目の再生を停止すると、2台目からの音楽を聞くことができます。

2台の機器をBluetooth接続した状態での通話

- ヘッドセットに2台のスマートフォンなどを同時にBluetooth接続すると、2台とも着信待ち受け状態になります。
 - 1台目の機器に着信があると、着信音はヘッドセットから聞こえます。ヘッドセットで通話をしているときに、2台目の機器に着信があると、着信音は2台目の機器から聞こえます。
- 1台目の機器の通話を終了すると、2台目の機器からの着信音がヘッドセットから聞こえるようになります。

ご注意

- “Sony | Headphones Connect”アプリで【2台の機器と同時に接続】をオンにしているときは、LDACは使用できません。コーデックはAACまたはSBCでの接続に自動的に切り替わります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [Bluetooth接続をするには](#)
- [対応コーデックについて](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

- 1 Bluetooth機器の画面をロックしている場合は、解除する。
- 2 ワンタッチ接続（NFC）対応機器は、もう一度ヘッドセットにタッチして切断する。ワンタッチ接続（NFC）非対応機器の場合は、Bluetooth機器を操作して切断する。
切断すると、音声ガイダンス「ブルートゥース、切斷しました」が流れます。
- 3 ヘッドセットの電源を切る。
音声ガイダンス「電源を切れます」が流れます。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- ワンタッチ（NFC）でAndroid搭載スマートフォンとの接続を切る
- ワンタッチ（NFC）でウォークマンとの接続を切る（NFC対応モデル）
- ヘッドセットの電源を切る

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

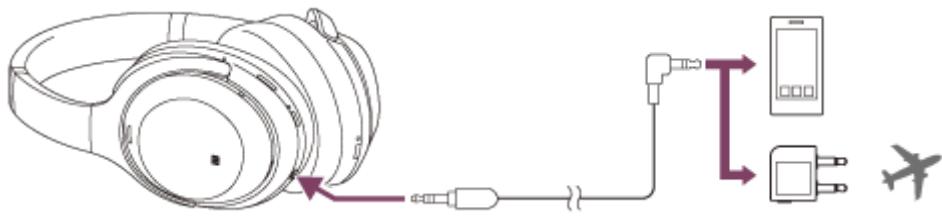
付属のヘッドホンケーブルをつないで使う

航空機内などBluetooth機器の使用が制限されている場所では、付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れると、ノイズキャンセリングヘッドホンとして使用できます。

ハイレゾリューション・オーディオ再生に対応しています。

1 ヘッドホンケーブル入力端子に、付属のヘッドホンケーブルで聞きたい機器をつなぐ。

L型プラグは必ず接続機器側につないでください。



ヒント

- ヘッドセットの電源を切っても、音楽を聞くことができます。この場合はノイズキャンセリング機能は使用できません。
- ハイレゾリューション・オーディオを再生するときや、ノイズキャンセリング機能、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）などを使用するときは、ヘッドセットの電源を入れて使用してください。
- 航空機エンターテインメントを利用する場合は、付属の航空機用プラグアダプターを使用してください。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れて使用しているときに、ヘッドセットからヘッドホンケーブルを抜くと、自動的に電源が切れます。
- 電話がかかってくると、着信音はヘッドセットから聞こえます。スマートフォンや携帯電話を操作して電話を受け、スマートフォンや携帯電話のマイクで通話してください。相手の音声はヘッドセットで聞くことができます。スマートフォンや携帯電話からヘッドホンケーブルを外すと、スマートフォンや携帯電話のマイクとスピーカーで通話ができます。

ご注意

- 必ず付属のヘッドホンケーブルをご使用ください。
- プラグを確実に奥まで差し込んでください。
- ヘッドホンケーブル使用時は、Bluetooth機能は使用できません。
- 付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れているときは、クイックアテンションモード、スピーカー・トゥ・チャットは使用できます。音量調節、再生／一時停止などの操作は再生機器側で行ってください。ヘッドセットの電源を切ると、クイックアテンションモード、スピーカー・トゥ・チャットは使用できなくなります。
- 電源がオフのときはCUSTOM（カスタム）ボタンは使用できません。
- 航空機エンターテインメントによっては、航空機用プラグアダプターが使えないことがあります。
- ヘッドホンケーブルをつないで通話するときは、相手の音声が聞こえなくなるため、スピーカー・トゥ・チャットを無効にしてください。

関連項目

- ノイズキャンセリング機能を使う
- 音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））
- すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

Bluetooth接続した機器の音楽を聞く

お使いのBluetooth機器が次のプロファイルに対応していれば、Bluetooth接続した機器の音楽をヘッドセットで聞いたり、ヘッドセットから機器を操作したりできます。

- A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
高音質な音楽をワイヤレスで楽しめます。
- AVRCP (Audio Video Remote Control Profile)
音量調節などの操作ができます。

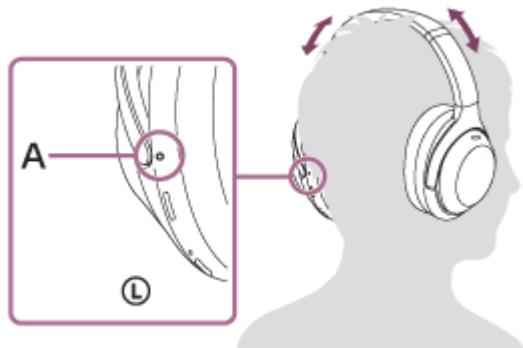
操作はBluetooth機器によって異なることがあります。お使いのBluetooth機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 ヘッドセットとBluetooth機器を接続する。

2 ヘッドセットを耳に装着する。

ヘッドバンドを伸ばして長さを調節します。

① (左) マーク表示のあるほうを左耳に、② (右) マーク表示のあるほうを右耳にして、ヘッドセットを頭にかけます。① (左) マーク側には凸点 (突起) がついています。



A : 凸点 (突起)

3 Bluetooth機器を再生して、適度な音量に調節する。

4 ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になつたら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

ヒント

- ヘッドセットはSCMS-T方式のコンテンツ保護に対応しています。SCMS-T方式対応の携帯電話やワンセグTVなどの音楽（または音声）を、ヘッドセットで聞くことができます。
- Bluetooth機器によっては、機器側で音量調節や音声出力先の設定が必要な場合があります。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [音楽再生時にできること（Bluetooth接続）](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)

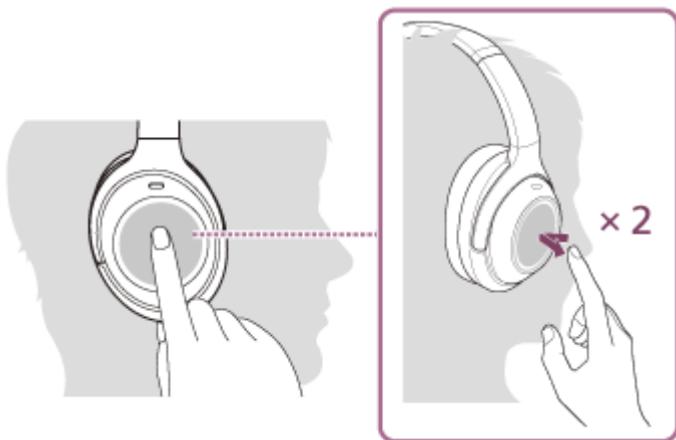
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

音楽再生時にできること (Bluetooth接続)

お使いのBluetooth機器が機器操作機能（対応プロファイル：AVRCP）に対応していれば、以下のような操作が可能です。Bluetooth機器によってできる機能は異なりますので、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

タッチセンサーコントロールパネルを使って、以下の操作ができます。

- 再生／一時停止：タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップします。



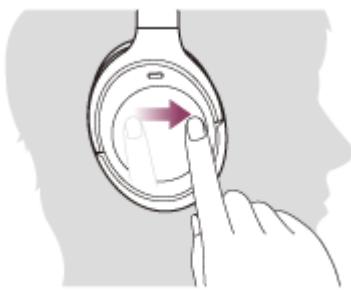
- 次の曲の頭出し：前にすべらせて離します。



- 前（または再生中）の曲の頭出し：後ろにすべらせて離します。



- 早送り：前にすべらせて触れたまま止め（早送りが始まるまでに多少時間がかかります）、再生したい位置に来たら指を離します。



- 早戻し：後ろにすべらせて触れたまま止め（早戻しが始まるまでに多少時間がかかります）、再生したい位置に来たら指を離します。



- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

ご注意

- 通信状態が悪いと、ヘッドセットの操作に対してBluetooth機器が誤動作する場合があります。
- 接続する機器、使用する音楽ソフトやアプリによってできる機能が異なります。上記の操作をしても異なる動作をしたり、動作しない場合があります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

- 1 Bluetooth機器の画面をロックしている場合は、解除する。
- 2 ワンタッチ接続（NFC）対応機器は、もう一度ヘッドセットにタッチして切断する。ワンタッチ接続（NFC）非対応機器の場合は、Bluetooth機器を操作して切断する。
切断すると、音声ガイダンス「ブルートゥース、切斷しました」が流れます。
- 3 ヘッドセットの電源を切る。
音声ガイダンス「電源を切れます」が流れます。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- ワンタッチ（NFC）でAndroid搭載スマートフォンとの接続を切る
- ワンタッチ（NFC）でウォークマンとの接続を切る（NFC対応モデル）
- ヘッドセットの電源を切る

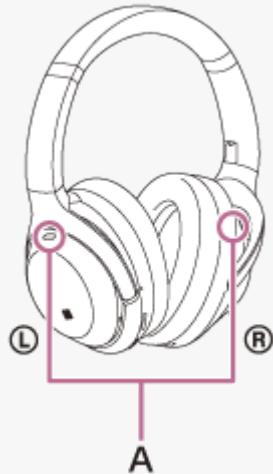
ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ノイズキャンセリング機能とは

ノイズキャンセリング機能とは、外部の環境ノイズ（乗り物内の騒音や室内の空調音など）と逆位相の音を出すことで環境ノイズが低減して聞こえる機能です。

ご注意

- 静かな場所やノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなつたと感じられる場合があります。
- ヘッドセットを耳に装着しているとき、装着状態によっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。この場合は、ヘッドセットを耳に装着しなおしてください。
- ノイズキャンセリング機能は、乗り物や空調などの主に低い周波数帯域の騒音に対してもっとも効果を発揮します。すべての音が打ち消されるわけではありません。
- 自動車、バスなどでご使用の場合、路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。
- 携帯電話の影響によりノイズが入ることがあります。この場合は、携帯電話からヘッドセットを離してください。
- ヘッドセットの左右のユニットにあるマイク部を手などで覆わないでください。ノイズキャンセリングや外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の効果が得られなくなつたり、ピーという音（ハウリング）が出たりすることがあります。このような場合は、左右のマイク部から手などを離してください。



A : マイク (左、右)

関連項目

- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ノイズキャンセリング機能を使う

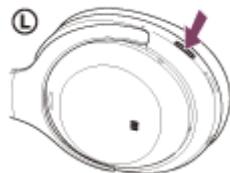
ノイズキャンセリング機能を使うと、周囲の雑音を気にせずに音楽を楽しむことができます。

1 ヘッドセットの電源を入れる。

音声ガイダンス「電源が入りました」が流れます。
自動的にノイズキャンセリング機能がオンになります。

ノイズキャンセリング機能をオフにするには

CUSTOM (カスタム) ボタンを繰り返し押して、ノイズキャンセリング機能をオフにします。



ボタンを押すたびに機能が次のように切り替わり、機能を知らせる音声ガイダンスが流れます。

外音取り込み機能「オン」



ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」



ノイズキャンセリング機能「オン」

取扱説明動画について

ノイズキャンセリング機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0012/ja/>

ヒント

- Bluetooth接続でノイズキャンセリング機能を使用しているときに付属のヘッドホンケーブルをつなぐと、Bluetooth機能はオフになりますが、ノイズキャンセリング機能は続けて使用できます。
- 通常のヘッドホンとして使用する場合は、ヘッドセットの電源を切って、付属のヘッドホンケーブルを使用してください。
- ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Headphones Connect”アプリでも変更できます。

ご注意

- CUSTOM (カスタム) ボタンがGoogleアシスタントボタンとして設定されている場合は、ヘッドセットからはノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の切り替えができません。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更できます。

- CUSTOM（カスタム）ボタンがAmazon Alexaボタンとして設定されている場合は、ヘッドセットからはノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の切り替えができません。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更できます。

関連項目

- [音声ガイダンスについて](#)
- [ヘッドセットの電源を入れる](#)
- [ノイズキャンセリング機能とは](#)
- [音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

装着状態に合わせてノイズキャンセリング機能を最適化する (NCオプティマイザー)

顔の輪郭や髪型、めがね装用の有無などによるヘッドセットの装着状態や、航空機内などの気圧の変化を解析して、ノイズキャンセリング性能を最適な状態にします。

初めてヘッドセットを使用するときや、装着状態が変わったとき、航空機内と地上など気圧が変化したときは、NCオプティマイザーを実行することをおすすめします。

- 1 電源が入っている状態でヘッドセットを耳に装着する。



- 2 CUSTOM (カスタム) ボタンを「最適化を開始」の音声ガイダンスが流れるまで約2秒間押したままにする。



最適化中はテスト信号が聞こえます。最適化が完了すると「最適化を完了」の音声ガイダンスが流れます。

取扱説明動画について

NCオプティマイザーの使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0014/ja/>

ヒント

- 髪型を変えたり、常用しているめがねを外したりして装着状態が変わったときは、もう一度NCオプティマイザーを実行することをおすすめします。
- 航空機内では安定飛行状態になってからNCオプティマイザーを実行することをおすすめします。

- NCオプティマイザーで最適化された状態は、次にNCオプティマイザーを実行するまで保持されます。飛行機を降りた後などはもう一度NCオプティマイザーを実行することをおすすめします。
- “Sony | Headphones Connect”アプリからNCオプティマイザーを操作することもできます。

ご注意

- NCオプティマイザーを実行するときは、実際の使用時に近い状態でヘッドセットを耳に装着してください。実行中はヘッドセットにできるだけ触れないことをおすすめします。
- NCオプティマイザー実行中に、ヘッドセットが他の操作などを受け付けた場合は、実行が解除されます。
- CUSTOM（カスタム）ボタンがGoogleアシスタントボタンとして設定されている場合は、ヘッドセットからはNCオプティマイザーの操作はできません。
- CUSTOM（カスタム）ボタンがAmazon Alexaボタンとして設定されている場合は、ヘッドセットからはNCオプティマイザーの操作はできません。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

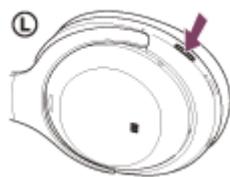
WH-1000XM4

音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））

ヘッドセットの左右に内蔵されているマイクにより、周囲の音を聞き取りやすくし、周囲の音を確認しながら音楽を楽しむことができます。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）を使用するには

ノイズキャンセリング機能がオンの状態で、CUSTOM（カスタム）ボタンを押します。



外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）の設定を変更するには

ヘッドセットを“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとBluetooth接続して、外音取り込み機能の設定を変更できます。

ボイスフォーカス：騒音を抑えつつアナウンスや人の声のみを取り込み、音楽と一緒に聞こえるようにします。

外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）をオフにするには

CUSTOM（カスタム）ボタンを繰り返し押して、外音取り込み機能をオフにします。

ボタンを押すたびに機能が次のように切り替わり、機能を知らせる音声ガイダンスが流れます。

ノイズキャンセリング機能「オフ」／外音取り込み機能「オフ」



ノイズキャンセリング機能「オン」



外音取り込み機能「オン」

取扱説明動画について

外音取り込み機能の使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0012/ja/>

ヒント

- “Sony | Headphones Connect”アプリで変更した外音取り込み機能の設定はヘッドセットに記憶されます。一度設定を変更すれば、“Sony | Headphones Connect”アプリがインストールされていない機器の音楽を聞くときでも、外音取り込み機能をオンにするだけで記憶された設定で聞くことができます。

ご注意

- 外音取り込み機能を使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。

- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、外音取り込み機能が正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。
- CUSTOM（カスタム）ボタンがGoogleアシスタントボタンとして設定されている場合は、ヘッドセットからはノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の切り替えができません。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更できます。
- CUSTOM（カスタム）ボタンがAmazon Alexaボタンとして設定されている場合は、ヘッドセットからはノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の切り替えができません。ノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の設定は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更できます。
- 外音取り込み機能をオンにすると、周囲の環境によっては風切り音が大きくなることがあります。その場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリでボイスフォーカスを解除してください。それでも風切り音が大きいときは、外音取り込み機能をオフにしてください。

関連項目

- [音声ガイダンスについて](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

すばやく周囲の音を聞きたいときは（クイックアテンションモード）

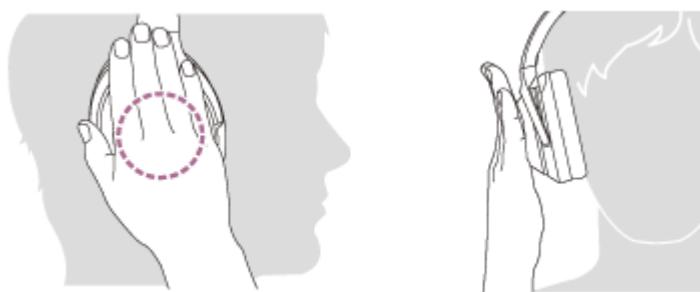
再生中の音楽の音量を下げる、周囲の音をさらに聞き取りやすくなります。電車内のアナウンスなどをすぐに聞きたいときに便利です。

クイックアテンションモードを使用するには

ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネル全体を手で触れてください。クイックアテンションモードは、タッチセンサーコントロールパネルに触れている間だけ動作します。



A : タッチセンサーコントロールパネル



クイックアテンションモードを解除するには

タッチセンサーコントロールパネルから手を離します。

取扱説明動画について

クイックアテンションモードの使いかたは、動画でご覧いただけます。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0013/ja/>

ご注意

- 以下のような場合は正しく動作しないことがあります。
 - タッチセンサーコントロールパネル全体が覆われていない。



— タッチセンサーコントロールパネルに触れていない。



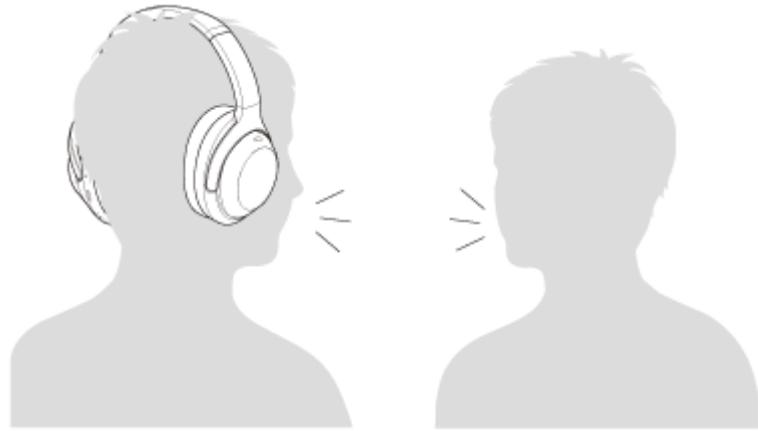
- クイックアテンションモードを使用しても、周囲の状況や再生中の音の種類や音量によっては、周囲の音が聞き取れない場合があります。周囲の音が聞こえないと危険な場所（車や自転車の通る道など）では、ヘッドセットを使用しないでください。
- ヘッドセットがしっかりと耳に装着されていないと、クイックアテンションモードが正常に動作しない場合があります。ヘッドセットをしっかりと耳に装着してください。
- 通話中にクイックアテンションモードは使用できません。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）

事前にスピーク・トゥ・チャットを有効に設定しておくと、相手に話しかけることで、自動的にスピーク・トゥ・チャットモードが起動します。再生中の音楽は、一時停止または消音し、相手の音声をマイクで取り込み聞きやすくなります。



スピーク・トゥ・チャットを有効にするには

スピーク・トゥ・チャットモードを起動するには、あらかじめヘッドセットの音声自動検出を有効にしておく必要があります。

お買い上げ時はスピーク・トゥ・チャットは無効に設定されています。有効にするには、「スピークトゥチャット有効」の音声ガイダンスが流れるまで、タッチセンサーコントロールパネルを2本の指で触れたままにします。



スピーク・トゥ・チャットを無効にするには

「スピークトゥチャット無効」の音声ガイダンスが流れるまで、もう一度2本の指で触れたままにします。

取扱説明動画について

スピーク・トゥ・チャットの使いかたは、動画でご覧いただけます。

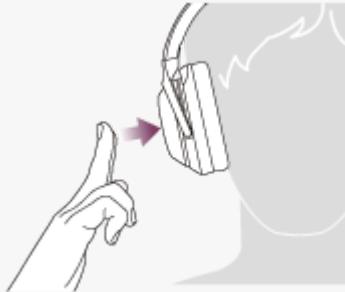
<https://rd1.sony.net/help/mdr/mov0015/ja/>

ヒント

- スピーク・トゥ・チャットの有効／無効がうまく切り替わらないときは、下記のように操作してください。
– 2本の指を少し離す



- タッチセンサーコントロールパネルにまっすぐ触れる



- 指の腹でタッチセンサーコントロールパネルに触れる



- スピーカー・トゥ・チャットモードは以下の場合に終了します。
 - ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出しない状態が30秒以上続いたとき
 - ヘッドセットのボタンやタッチセンサーコントロールパネルを操作したとき
- “Sony | Headphones Connect”アプリを使用すると、有効／無効の切り替え、音声自動検出の感度変更、スピーカー・トゥ・チャットモードが終了するまでの時間変更ができます。

ご注意

- スピーカー・トゥ・チャットモードは、ヘッドセット装着者の発話を検出して起動しますが、まれに他人の声や周囲の環境音、乗り物内のアナウンスなどに反応して起動することがあります。意図せずスピーカー・トゥ・チャットモードが起動することが多い場合は、スピーカー・トゥ・チャットを無効にしてください。
- 周囲の騒音などにより、ヘッドセット装着者の発話が検出されず、スピーカー・トゥ・チャットモードが起動しないことがあります。この場合は、長めに発話したり、声量を大きくしてください。ただし、航空機内など騒音が非常に大きいところでは、長めに話したり、声量を大きくしてもスピーカー・トゥ・チャットモードが起動しないことがあります。
- スピーカー・トゥ・チャットモード起動時に再生中の音楽が一時停止されるのはBluetooth接続時のみです。
- お使いの接続機器や再生アプリケーションによっては、再生中の音楽の一時停止には対応していません。

関連項目

- “Sony | Headphones Connect”アプリでできること

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

音質モードについて

Bluetooth再生時の音質モードを次の2通りから選べます。“Sony | Headphones Connect”アプリで、設定を切り替えたり、音質モードを確認したりすることができます。

音質優先モード：再生音質を優先します（お買い上げ時の設定）。

接続優先モード：接続の途切れにくさを優先します。

- 再生音質を優先したいときは、音質優先モードに設定してください。
- 音切れしやすいなど接続が不安定なときは、接続優先モードに設定してください。

ご注意

- 音質や使用条件などにより、再生時間が短くなる場合があります。
- お使いの環境によっては、接続優先モードにしても音の途切れが改善されない場合もあります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

対応コーデックについて

コーデックとはBluetooth接続で音声を無線伝送する際に使用する「音声圧縮変換方式」のことです。ヘッドセットが音楽再生の接続 (A2DP) 時に対応しているコーデックは、SBC、AAC、LDACの3種類です。

- SBC

Subband Codecの略です。

SBCは、Bluetooth機器が標準で使用する音声圧縮技術です。

Bluetooth機器は必ずSBCに対応しています。

- AAC

Advanced Audio Codingの略です。

AACは、主にiPhoneなどのApple製品で使用されており、SBCに比べ高音質です。

- LDAC

LDACは、ソニーが開発したハイレゾ音源をBluetooth通信経由でも伝送可能とする音声圧縮技術です。

SBC等の既存Bluetooth通信向け圧縮技術とは異なり、ハイレゾ音源を低い周波数・低いビット数へダウンコンバートすることなく処理します（*）。

また極めて効率的な符号化やパケット配分の最適化を施すことで、従来技術比約3倍（**）のデータ量の送信を可能とし、これまでにない高音質のBluetooth無線伝送を実現しています。

* DSDフォーマットは除く。

** 990 kbps (96/48 kHz) または909 kbps (88.2/44.1 kHz) のビットレートを選択した場合のSBCとの比較。

接続機器が上記のいずれかのコーデックで音楽を送信してきたとき、自動的にそのコーデックに対応し音楽再生します。

SBCよりも高音質なコーデックに対応している接続機器の場合、対応しているコーデックの中から希望するコーデックで音楽を楽しむために、事前に接続機器側の設定が必要な場合があります。

コーデックの設定については接続機器の取扱説明書をご確認ください。

関連項目

- [音質モードについて](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

DSEE Extremeについて

音楽ファイルの高音域を補完するとともに、サンプリング周波数とビットレートを本来の数値より高めることで、MP3などの高圧縮音源もCD以上の高解像になり、よりクリアな躍動感あるサウンドを楽しめます。さらに、周波数特性の補完には、AI（人工知能）技術を用いることで、高音域の補完性能が向上しました。

関連項目

- [使用可能時間](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

電話を受ける

お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP (Hands-free Profile) またはHSP (Headset Profile) に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 通常の電話発着信にのみ対応しています。スマートフォンやパソコンの通話用アプリには対応しておりません。

着信音について

着信すると、ヘッドセットから着信音が聞こえ、ランプ（青）が速く点滅します。

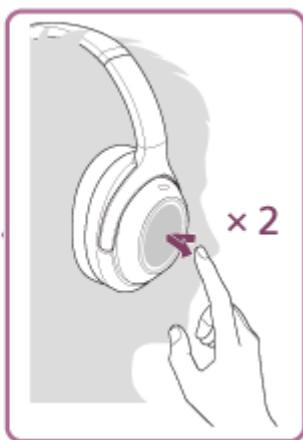
ヘッドセットから聞こえる着信音は、スマートフォン／携帯電話によって以下のいずれかとなります。

- ヘッドセットの着信音
- スマートフォン／携帯電話の着信音
- スマートフォン／携帯電話のBluetooth接続専用の着信音

1 あらかじめヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続しておく。

2 着信したら、タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして電話を受ける。

音楽再生中に着信すると、音楽が一時停止し、着信音が聞こえます。



ヘッドセットには全指向性マイクを搭載しています。マイクの位置を意識せずに通話ができます。

ヘッドセットから着信音が聞こえない場合は

- HFPまたはHSPで接続されていない可能性があります。スマートフォン／携帯電話側の接続状況を確認してください。
- 再生中の音楽が自動的に一時停止しない場合は、手動で一時停止してください。

3 タッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になったら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

④ 通話が終了したら、タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして電話を切る。

音楽再生中に着信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- スマートフォン／携帯電話を操作して電話を受けた場合、機種によっては、スマートフォン／携帯電話での通話が優先されることがあります。HFPまたはHSP接続の場合、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネル部分を音声が切り替わるまで触れたままにするか、スマートフォン／携帯電話を操作して、通話をヘッドセットに切り替えてください。
- 通話の音量は、待ち受け中には調節できません。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。

ご注意

- 一部のスマートフォン／携帯電話では、音楽再生中に着信した通話を終了しても、自動的に再生を再開しないことがあります。
- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [電話をかける](#)
- [通話時にできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

電話をかける

お使いのスマートフォン／携帯電話がBluetoothプロファイルのHFP (Hands-free Profile) またはHSP (Headset Profile) に対応していれば、ヘッドセットとBluetooth接続してハンズフリー通話ができます。

- スマートフォン／携帯電話がHFPとHSPの両方に対応している場合は、HFPを使用してください。
- 操作はスマートフォン／携帯電話によって異なることがあります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 通常の電話発着信にのみ対応しています。スマートフォンやパソコンの通話用アプリには対応しておりません。

1 ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話をBluetooth接続する。

2 お使いのスマートフォン／携帯電話を操作して発信する。

発信すると、ヘッドセットから発信音が聞こえます。

音楽再生中に発信すると、音楽が一時停止します。

ヘッドセットから発信音が聞こえない場合は、スマートフォンや携帯電話を操作してヘッドセットに音声を切り替えるか、音声が切り替わるまでタッチセンサーコントロールパネルに触れたままにしてください。



ヘッドセットには全指向性マイクを搭載しています。マイクの位置を意識せずに通話ができます。

3 タッチセンサーコントロールパネルを操作して、音量を調節する。

- 音量を上げる：上にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を下げる：下にすべらせて離す動作を、お好みの音量になるまで繰り返します。



- 音量を連続して変える：上または下にすべらせて触れたまま指を止めます。お好みの音量になつたら指を離します。

音量が最大または最小になると、警告音が鳴ります。

④ 通話が終了したら、タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして電話を切る。

音楽再生中に発信したときは、電話を切ると再生を再開します。

ヒント

- 通話の音量は、待ち受け中には調節できません。
- ヘッドセットは、通話するときの音量と音楽を聞くときの音量を、それぞれ調節することができます。音楽再生中に音量を変えても、通話時の音量は変わりません。

ご注意

- スマートフォン／携帯電話は、ヘッドセットから50 cm以上離してお使いください。ヘッドセットとスマートフォン／携帯電話が近いとノイズが入ることがあります。
- 通話時にヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [電話を受ける](#)
- [通話時にできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

通話時にできること

通話時にできることは、お使いのスマートフォン／携帯電話が対応しているプロファイルによって異なります。また、プロファイルが同じでも、スマートフォン／携帯電話によってできる機能が異なります。お使いのスマートフォン／携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

スマートフォン／携帯電話がHFP (Hands-free Profile) 対応のとき

待ち受け中／音楽再生中

- タッチセンサーコントロールパネルに約2秒間触れたままにすると、スマートフォン／携帯電話のボイスダイヤル機能 (*) や、Android搭載スマートフォンのGoogle™アプリ、iPhoneのSiriを起動します。



発信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップすると、発信を中断します。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、通話機器をヘッドセット ⇄ スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

着信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、電話を受けます。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、着信を拒否します。

通話中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、通話を終了します。
- タッチセンサーコントロールパネルに触れたままにすると、通話機器をヘッドセット ⇄ スマートフォン／携帯電話で切り替えます。

スマートフォン／携帯電話がHSP (Headset Profile) 対応のとき

発信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、発信を中断します。 (*)

着信中

- タッチセンサーコントロールパネルをすばやく2回タップすると、電話を受けます。

通話中

- タッチセンサコントロールパネルをすばやく2回タップすると、通話を終了します。 (*)
- * 接続機器によっては操作に対応していない場合があります。
-

関連項目

- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

パソコンでビデオ通話する

パソコンでビデオ通話するときに、ヘッドセットからワイヤレスで通話することができます。

1 ヘッドセットとパソコンをBluetooth接続する。

2 パソコンのビデオ通話用アプリを起動する。

3 ビデオ通話用アプリの設定 (*) を確認する。

- パソコンでビデオ通話するときは、音楽再生の接続 (A2DP) ではなく、通話の接続 (HFP/HSP) を選びます。音楽再生の接続を選ぶと、通話できない場合があります。
- スピーカーの設定で、通話の接続 [ヘッドセット (WH-1000XM4 Hands-Free)] (**) を選択します。 ([ヘッドホン (WH-1000XM4 Stereo)] (**) は音楽再生の接続です。)
- マイクの設定で、通話の接続 [ヘッドセット (WH-1000XM4 Hands-Free)] (**) を選択します。マイクが設定されていない場合、ヘッドセット装着者が発話した音声をヘッドセットが検出してスピーク・トゥ・チャットモードが起動し、ヘッドセットからの音声が消音されます。
- お使いのビデオ通話用アプリによっては、スピーカーの設定やマイクの設定で、通話の接続 [ヘッドセット (WH-1000XM4 Hands-Free)] (**) や音楽再生の接続 [ヘッドホン (WH-1000XM4 Stereo)] (**) を選択できず、 [WH-1000XM4] のみ表示される場合があります。その場合は、 [WH-1000XM4] を選択してください。
- その他、よくあるお問い合わせとその回答をサポートホームページでご案内していますので、ご参照ください。

* お使いのビデオ通話用アプリによっては、機能がない場合があります。

** 名称はお使いのパソコンやビデオ通話用アプリによって異なります。

ヒント

- ビデオ通話用アプリの設定が確認できない場合や、通話の接続 [ヘッドセット (WH-1000XM4 Hands-Free)] を選択できない場合は、パソコンの設定から [ヘッドセット (WH-1000XM4 Hands-Free)] を選択し、接続してください。「[機器登録 \(ペアリング\) 済みのパソコンと接続する \(Windows 10\)](#)」、「[機器登録 \(ペアリング\) 済みのパソコンと接続する \(Windows 8.1\)](#)」、「[機器登録 \(ペアリング\) 済みのパソコンと接続する \(Mac\)](#)」をご参照ください。

ご注意

- お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。その場合は、スピーク・トゥ・チャットを無効にしてください。無効にするには、「スピークトゥチャット無効」の音声ガイドが流れるまで、タッチセンサーコントロールパネルを2本の指で触れたままにします。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [パソコンを機器登録 \(ペアリング\) してから接続する \(Windows 10\)](#)
- [パソコンを機器登録 \(ペアリング\) してから接続する \(Windows 8.1\)](#)
- [パソコンを機器登録 \(ペアリング\) してから接続する \(Mac\)](#)
- [機器登録 \(ペアリング\) 済みのパソコンと接続する \(Windows 10\)](#)
- [機器登録 \(ペアリング\) 済みのパソコンと接続する \(Windows 8.1\)](#)

- 機器登録（ペアリング）済みのパソコンと接続する（Mac）
- Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）
- ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）
- サポートホームページで調べる

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

Bluetooth接続を切断するには（使い終わるには）

- 1 Bluetooth機器の画面をロックしている場合は、解除する。
- 2 ワンタッチ接続（NFC）対応機器は、もう一度ヘッドセットにタッチして切断する。ワンタッチ接続（NFC）非対応機器の場合は、Bluetooth機器を操作して切断する。
切断すると、音声ガイダンス「ブルートゥース、切斷しました」が流れます。
- 3 ヘッドセットの電源を切る。
音声ガイダンス「電源を切れます」が流れます。

ヒント

- Bluetooth機器の種類によっては、音楽の再生を終了すると、自動的にBluetooth接続を切断する場合があります。

関連項目

- ワンタッチ（NFC）でAndroid搭載スマートフォンとの接続を切る
- ワンタッチ（NFC）でウォークマンとの接続を切る（NFC対応モデル）
- ヘッドセットの電源を切る

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

Google アシスタントを使う

スマートフォンに搭載されているGoogle アシスタントを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

- Android 5.0以降 (Googleアプリが最新版にアップデートされている必要があります)

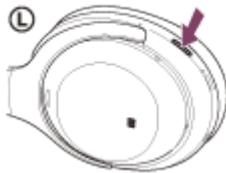
1 “Sony | Headphones Connect”アプリを起動し、CUSTOM（カスタム）ボタンの機能をGoogle アシスタントに変更する。

初回接続時は、Google アシスタントを起動して会話画面で【ヘッドフォンの設定を完了】をタッチし、スマートフォン画面の指示に従ってGoogle アシスタントの初期設定を完了してください。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

2 CUSTOM（カスタム）ボタンを押してGoogle アシスタントを使う。



- ボタンを押したままにする：音声入力
- ボタンを1回押す：通知の読み上げ
- ボタンをすばやく2回押す：音声入力のキャンセル

Google アシスタントの詳しい操作については、以下のホームページをご覧ください。

https://assistant.google.com/intl/ja_jp/

Google アシスタントでヘッドセットの操作をする

CUSTOM（カスタム）ボタンを押しながらGoogle アシスタントで特定のワードを呼びかけることで、ノイズキャンセリングの設定などのヘッドセットの操作を行うことができます。

詳細については、以下のホームページ（*）をご覧ください。

<https://support.google.com/assistant/answer/7172842#headphones>

* ホームページで案内されているすべての仕様に対応しているわけではありません。

ヒント

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続されていないなどの理由でGoogle アシスタントが使用できないときは、音声ガイド「Google アシスタントが接続されていません」が流れます。
- Google アシスタントの会話画面で【ヘッドフォンの設定を完了】が表示されていないときは、スマートフォンのBluetooth設定からヘッドセットの機器登録（ペアリング）情報を削除して、もう一度機器登録を行ってください。

ご注意

- CUSTOM（カスタム）ボタンの機能をGoogle アシスタントに変更すると、ヘッドセットからはノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の切り替え、およびNCオプティマイザーの操作ができなくなります。
- CUSTOM（カスタム）ボタンの機能をGoogle アシスタントに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できなくなります。
- CUSTOM（カスタム）ボタンの機能をGoogle アシスタントに変更すると、ヘッドセットからはAmazon Alexaの操作ができなくなります。
- Google アシスタントは、一部の国や地域、言語では使用できません。
- Google アシスタントでヘッドセットの操作をする機能は、Google アシスタントの仕様によります。
- Google アシスタントの仕様は予告なく変更になる場合があります。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

Amazon Alexaを使う

スマートフォンにインストールされているAmazon Alexaアプリを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でスマートフォンを操作したり、調べものをしたりすることができます。

対応するスマートフォン

- AndroidまたはiOSでAmazon Alexaアプリ最新版が対応しているOSバージョン
 - Amazon Alexaアプリ最新版がインストールされている必要があります。
1. モバイルデバイスでアプリストアを開く。
 2. Amazon Alexaアプリを検索する。
 3. インストールを選ぶ。
 4. 開くを選ぶ。

1 ヘッドセットの電源を入れ、スマートフォンとBluetooth接続する。

2 Amazon Alexaアプリを起動する。

初めてAmazon Alexaを使うときは、Amazonアカウントでログインして手順 **3** に進み、Amazon Alexaアプリにヘッドセットを登録します。

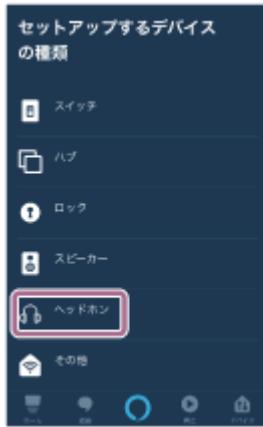
すでにAmazon Alexaアプリに登録した場合でも、CUSTOM（カスタム）ボタンにAmazon Alexa以外の機能が設定されているときは、「ヒント」の項目をご覧になり、CUSTOM（カスタム）ボタンにAmazon Alexaの機能を設定し直してください。

3 Amazon Alexaの初期設定をする。

1. Amazon Alexaアプリ画面の左上にあるメニューアイコンをタッチし、[デバイスを追加] をタッチする。



2. [セットアップするデバイスの種類] 画面で [ヘッドホン] を選ぶ。



3. [デバイスを選択] 画面の [検出されたデバイス] から [WH-1000XM4] を選ぶ。



[検出されたデバイス] に [WH-1000XM4] と [LE_WH-1000XM4] が表示される場合は、[WH-1000XM4] を選んでください。

[LE_WH-1000XM4] が先に表示されますが、[WH-1000XM4] が表示されるまでお待ちください。

[WH-1000XM4] が表示されるまでに、約30秒～1分間ほど時間がかかる場合があります。

[WH-1000XM4] が表示されない場合は、ヘッドセットとスマートフォンがBluetooth接続されていません。ヘッドセットとスマートフォンをBluetooth接続してください。

4. [Alexaを設定するデバイス : WH-1000XM4] 画面で [続行] をタッチする。



5. [このアクセサリでの現在の音声アシスタント設定が無効になります] という画面が表示された場合は [続行] をタッチする。

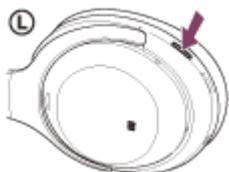


6. [セットアップ完了] 画面が表示されたら [終了] をタッチする。



初期設定が完了すると、ヘッドセットのCUSTOM (カスタム) ボタンの機能がAmazon Alexaに変わります。

④ CUSTOM (カスタム) ボタンを押してAmazon Alexaを使う。



- ボタンを短く押して、音声入力する。
例：
「今日の天気は？」
「音楽をかけて（*）」
* AmazonやPrime Musicの会員登録が必要です。
- 音声入力しないと自動的にキャンセルされます。

Amazon Alexaでできることについては、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.amazon.com/b?node=16067214011>

Amazon Alexaについて詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.amazon.co.jp/gp/help/customer/display.html?nodeId=G7HPV3YLTGLJEJFK>

ヒント

- Amazon Alexaアプリでヘッドセットを登録すると、自動的にCUSTOM (カスタム) ボタンの機能がAmazon Alexaに設定されます。ボタンの機能を元の機能に戻す場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで変更してください。以前Amazon Alexaに接続したことがあって、ボタンに他の機能が設定されている場合でも、同様にAmazon Alexaの機能に設定し直すことができます。

- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認とアップデートは、“Sony | Headphones Connect”アプリで行ってください。
- ネットワークに接続していないなどの理由でAmazon Alexaが使用できないときは、音声ガイダンス「モバイルデバイスが接続されていないか、Alexaアプリを起動して再度お試しください」が流れます。

ご注意

- CUSTOM（カスタム）ボタンの機能をAmazon Alexaに変更すると、ヘッドセットからはノイズキャンセリング機能や外音取り込み機能の切り替え、およびNCオプティマイザーの操作ができなくなります。
- CUSTOM（カスタム）ボタンの機能をAmazon Alexaに変更すると、音声アシスト機能（Googleアプリ）は使用できなくなります。
- CUSTOM（カスタム）ボタンの機能をAmazon Alexaに変更すると、ヘッドセットからはGoogleアシスタントの操作ができなくなります。
- Amazon Alexaは、一部の国や地域、言語では使用できません。Alexaの機能はお使いの場所によって異なる場合があります。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

音声アシスト機能 (Googleアプリ) を使う

Android搭載スマートフォンに搭載されているGoogleアプリを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でAndroid搭載スマートフォンを操作できます。

1 アシストと音声入力の選択をGoogleアプリに設定する。

Android搭載スマートフォンで [設定] - [アプリと通知] - [詳細設定] - [標準のアプリ] - [アシストと音声入力] を選び、[アシストアプリ] をGoogleアプリに設定します。

上記の操作は一例です。詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

注：最新版のGoogleアプリが必要なことがあります。

Googleアプリについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書やサポートページまたはGoogle Playストアのウェブページをご覧ください。

Android搭載スマートフォンの仕様により、ヘッドセットからのGoogleアプリの起動に対応しない場合があります。

2 ヘッドセットをAndroid搭載スマートフォンにBluetooth接続する。

3 Android搭載スマートフォンが待ち受け中や音楽再生中に、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルに約2秒間触れたままにする。



Googleアプリが起動します。

4 ヘッドセットを耳に装着した状態で、Googleアプリに頼みごとをする。

Googleアプリと連携しているアプリなどについて詳しくは、Android搭載スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

Googleアプリを起動した後、頼みごとをしないで一定時間たつと、音声入力が解除されます。

ご注意

- CUSTOM (カスタム) ボタンがGoogleアシスタントボタンとして設定されている場合は、音声アシスト機能 (Googleアプリ) は使用できません。
- CUSTOM (カスタム) ボタンがAmazon Alexaボタンとして設定されている場合は、音声アシスト機能 (Googleアプリ) は使用できません。

- Android搭載スマートフォンで“Ok Google”を有効にしていても、“Ok Google”の音声でGoogleアプリを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりGoogleアプリが起動しない場合があります。
- 音声アシスト機能に対応していない機器と接続した場合、Googleアプリは動作しません。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

音声アシスト機能 (Siri) を使う

iPhoneに搭載されているSiriを起動して、ヘッドセットのマイクから、声でiPhoneを操作できます。

1 Siriを有効にする。

iPhoneで【設定】 - 【Siriと検索】の順に選び、【ホームボタンを押してSiriを使用】と【ロック中にSiriを許可】をオンにします。

上記の操作は一例です。詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

注：Siriについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書やサポートページをご覧ください。

2 ヘッドセットをiPhoneにBluetooth接続する。

3 iPhoneが待ち受け中や音楽再生中に、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルに約2秒間触れたままにする。



Siriが起動します。

4 ヘッドセットを耳に装着した状態で、Siriに頼みごとをする。

Siriと連携しているアプリなどについて詳しくは、iPhoneの取扱説明書をご覧ください。

5 続けて頼みごとをする場合は、Siriが解除される前にタッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップする。

Siriを起動した後、頼みごとをしないで一定時間がたつと、Siriが解除されます。

ご注意

- iPhoneで“Hey Siri”を有効にしていても、“Hey Siri”的音声でSiriを起動することはできません。
- 音声アシスト機能を使用する際に、ヘッドセットのマイクが作動して、ヘッドセットから自分の声が聞こえます（サイドトーン機能）。このとき、ヘッドセットから周囲の音やヘッドセットの操作音が聞こえますが故障ではありません。
- スマートフォンの仕様やアプリのバージョンによりSiriが起動しない場合があります。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

“Sony | Headphones Connect”アプリでできること

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンとヘッドセットをBluetooth接続すると、以下のことができます。

- 簡単ペアリング
- ヘッドセットの充電式電池の残量表示
- Bluetooth接続コードックの表示
- ノイズキャンセリング機能と外音取り込み機能のモード調整（外音コントロール）
- 行動検出によるノイズキャンセリング機能の自動調整（アダプティブサウンドコントロール）
- NCオプティマイザー（ノイズキャンセリングの最適化）
- スピーカー・トゥ・チャット 音声自動検出 有効／無効の切り替えと設定
- イコライザー設定
- イコライザー設定のカスタム設定
- Bluetooth接続モード設定（音質モード）
- DSEE Extreme（高音域補完）設定
- CUSTOM（カスタム）ボタンの機能変更
- ヘッドセットの電源オフ
- 音楽再生時の音量調節
- 音楽の再生／一時停止、前（または再生中）の曲の頭出し／次の曲の頭出し
- ヘッドセットの接続状態と設定の確認
- ヘッドセットのソフトウェアバージョンの確認
- ヘッドセットのソフトウェアアップデート
- 音声ガイダンスの言語変更
- 音声ガイダンスのオン／オフ切り替え
- タッチセンサーコントロールパネルのオン／オフ切り替え
- 装着検出による自動電源オフ機能の設定
- 装着検出による自動音楽再生停止／再生再開機能の設定
- マルチポイント接続（2台の機器と同時に接続）のオン／オフ切り替え

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。

https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/

ヒント

- オーディオ機器によって“Sony | Headphones Connect”アプリでできる操作は異なります。アプリの仕様および画面デザインは予告なく変更する場合があります。

ご注意

- イコライザーやDSEE Extremeの機能を使用すると、ヘッドセットの使用可能時間が短くなります。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [装着状態に合わせてノイズキャンセリング機能を最適化する（NCオプティマイザー）](#)
- [音楽再生中に周囲の音を聞く（外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード））](#)

- 音質モードについて
- 対応コーデックについて
- DSEE Extremeについて
- 2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）
- 使用可能時間

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

“Sony | Headphones Connect”アプリをインストールする

- 1 Google PlayストアまたはApp Storeから“Sony | Headphones Connect”アプリをダウンロードしてスマートフォンにインストールする。

“Sony | Headphones Connect”アプリについて詳しくは、下記URLをご覧ください。
https://rd1.sony.net/help/mdr/hpc/h_zz/



Sony Headphones Connect 

- 2 インストールが終了したら“Sony | Headphones Connect”アプリを起動する。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

“Sony | Headphones Connect”アプリからサポート情報を見る

“Sony | Headphones Connect”アプリから最新のサポート情報を見るることができます。

- ① “Sony | Headphones Connect”アプリ画面から【ヘルプ】を選択する。
- ② 【Headphones Connect ヘルプ】画面が開き、サポート情報が表示される。
- ③ 参照したい項目を選択する。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ソフトウェアアップデートについて

“Sony | Headphones Connect”アプリを使ってヘッドセットの最新のソフトウェアをインストールすることで、新しい機能をお楽しみいただけたり、いくつかの問題が解決することができます。

常にソフトウェアを最新の状態にしてお使いください。

ヘッドセットの最新のソフトウェアおよびアップデートの方法について、詳しくはサポートページ内のお知らせなどをご確認ください。

“Sony | Headphones Connect”アプリで [ソフトウェアの自動ダウンロード] 設定を有効にしている場合（お買い上げ時の設定）、自動的にソフトウェアのダウンロードと転送が開始されます。

以下の方法でも、ヘッドセットのソフトウェアアップデートを行うことができます。

- 1 “Sony | Headphones Connect”アプリをインストールしたスマートフォンに、サーバーからアップデート用ソフトウェアをダウンロードする。
- 2 スマートフォンからヘッドセットへアップデート用ソフトウェアを転送する。
- 3 画面の表示に従ってアップデートを行う。

関連項目

- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

使用上のご注意

USB端子への水や異物混入のご注意

- ヘッドセットは防水仕様ではありません。水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店にご相談ください。特に以下の場合はご注意ください。
 - 洗面所などの使用
水の入った洗面台や容器の中に落とさないようご注意ください。
 - 雨や雪、湿度の多い場所での使用
 - 汗をかく状況での使用
濡れた手で触ったり、汗をかいだ衣服のポケットに入れると水濡れの原因となる場合があります。

Bluetooth通信について

- Bluetooth無線技術ではおよそ10 m程度までの距離で通信できますが、障害物（人体、金属、壁など）や電波状態によって通信有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所ではヘッドセットおよびBluetooth機器の電源を切ってください。
 - 病院内／電車内の優先席付近／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所／自動ドアや火災報知機の近く
- ヘッドセットを航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う、もしくはご利用の航空会社に使用条件をお尋ねください。付属のヘッドホンケーブルを接続せずに使用すると、電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。航空機内で使用される場合は、必ず付属のヘッドホンケーブルを接続してください。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べてヘッドセット側での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- ヘッドセットは、Bluetooth無線技術を使用した通信時のセキュリティーとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティー機能に対応していますが、設定内容などによってセキュリティーが充分でない場合があります。Bluetooth通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth通信時に情報の漏洩が発生しても、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ヘッドセットはすべてのBluetooth機器とのBluetooth接続を保証するものではありません。
 - 接続するBluetooth機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
 - 接続する機器が上記Bluetooth標準規格に適合していても、機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - ハンズフリー通話中、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- 接続する機器によっては、通信ができるようになるまで時間がかかることがあります。

静電気に関するご注意

- 人体に蓄積される静電気により耳にピリピリと痛みを感じことがあります。天然素材の衣服を身につけることで軽減できます。

装着に関するご注意

- ヘッドセットは密閉度を高めていますので、強く押された場合や急に耳からはずした場合、鼓膜などを痛める危険があります。また、ヘッドセットを装着したときに、振動板から音が生じる場合がありますが、故障ではありません。

その他のご注意

- ヘッドセットは精密機器のため落としたりぶつけたりなどの強いショックを与えないでください。
- タッチセンサーコントロールパネルにステッカーなどを貼ると、正しく動作しないことがあります。
- ヘッドセットを折りたたむ際に指を挟まないようにご注意ください。
- 有線接続時は必ず付属のヘッドホンケーブルを使用してプラグをしっかりと挿してください。
- 携帯電話でご使用の際、電波状況、場所の影響により、ご使用できない場合があります。
- ドライバーユニットに息を吹きかけないでください。
- ヘッドセットは力を加えたまま長時間放置すると、変形するおそれがあります。保管するときは、力を加えないようしてください。
- ヘッドセットを使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- イヤーパッドは長期の使用・保存により破損したり劣化する恐れがあります。

お手入れのしかた

- ヘッドセットの外装の汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げをいためるので使わないでください。

ヘッドセットを医療機器の近くで使わない

- 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。
- ヘッドセット（付属品を含む）は磁石を使用しているため、ペースメーカー、水頭症治療用圧可変式シャントなどの医療機器に影響を与える恐れがあります。ヘッドセットをこれらの医療機器をご使用の方に近づけないでください。これらの医療機器を使用されている場合、ヘッドセットのご使用前に担当医師にご相談ください。

ヘッドセットを磁気カードに近づけない

- ヘッドセットは磁石を使用しています。磁気を利用したカード類を近づけると、カードの磁気が変化して使えなくなることがあります。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ライセンスについて

ライセンスに関する注意

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアが搭載されております。当該ソフトウェアの著作権者様の要求に基づき、弊社はこれらの内容をお客様に通知する義務があります。

ライセンスに関して、内容をご一読くださいますようお願い申し上げます。

ライセンス内容は、以下のURLよりご覧ください。

<https://rd1.sony.net/help/mdr/sl/20/>

第三者が提供するサービスに関する免責事項

第三者が提供するサービスは予告なく、変更・停止・終了することがあります。ソニーは、そのような事態に対してもかかる責任も負いません。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

商標について

- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- iPhone、iPod touch、macOS、MacおよびSiriは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
「iPhone」の商標は、アイホン株式会社からライセンスを受け使用しています。
- App Storeは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google、AndroidおよびGoogle PlayはGoogle LLCの商標です。
- Amazon、Alexa及び関連するすべてのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、ソニーグループ株式会社及びその子会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- N-Markは米国およびその他の国におけるNFC Forum, Inc.の商標または登録商標です。
- ウォークマン®、WALKMAN®、WALKMAN®ロゴは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCa®はソニー株式会社の登録商標です。
- LDACおよびLDACロゴは、ソニー株式会社の商標です。
- USB Type-C®およびUSB-C®は、USB Implementers Forumの登録商標です。
- “DSEE”、“DSEE Extreme”はソニー株式会社の商標です。

その他、本ヘルプガイドに記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では®、™マークは明記していません。

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますのでお買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

このヘルプガイド、および取扱説明書、使用上のご注意／主な仕様をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。 詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセットの補修用部品を製造終了後6年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

関連項目

- [電話・ファックスで問い合わせる](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

電話・ファックスで問い合わせる

ヘッドセットについてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記の問い合わせ先をご利用ください。

お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

- セット本体に関するご質問時：

- 型名：WH-1000XM4
- 製造（シリアル）番号：本体に記載
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

- 接続に関するご質問時：

質問の内容によっては、ヘッドセットに接続される機器についてご質問させていただく場合があります。事前にわかる範囲でご確認いただき、お知らせください。

使い方相談窓口

- フリーダイヤル：0120-333-020

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9577

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- FAX：0120-333-389

修理相談窓口

- フリーダイヤル：0120-222-330

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- 携帯電話・PHS・一部のIP電話：050-3754-9599

上記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「309」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

- FAX：0120-333-389

SONY

ヘルプガイド(Web取扱説明書)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

サポートホームページで調べる

<https://www.sony.jp/support/headphone/>

接続対応機器情報、サポート情報、よくあるお問い合わせとその回答をご案内しています。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、もう一度下記の項目をチェックしてみてください。

- 本ヘルプガイドの各項目や「困ったときは」で調べる。
- ヘッドセットを充電する。
充電することで問題が解決することがあります。
- ヘッドセットをリセットする。
- ヘッドセットを初期化する。
音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録（ペアリング）情報を削除します。
- サポートホームページで調べる。

それでも解決しない場合、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。

なお、保証書とアフターサービスについては、「[保証書とアフターサービス](#)」をご参照ください。

関連項目

- [ヘッドセットを充電する](#)
- [保証書とアフターサービス](#)
- [電話・ファックスで問い合わせる](#)
- [サポートホームページで調べる](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

電源が入らない

- 充電式電池が充分に充電されているか確認してください。
- 充電中は電源を入れることができません。USB Type-Cケーブルを外して、電源を入れてください。
- ヘッドセットをリセットしてください。

関連項目

- [ヘッドセットを充電する](#)
- [充電式電池の残量を確認する](#)
- [リセットする](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

充電できない

- 必ず付属のUSB Type-Cケーブルを使用してください。
- USB Type-CケーブルがヘッドセットおよびUSB ACアダプターやパソコンにしっかりと接続されているか確認してください。
- USB ACアダプターが電源コンセントにしっかりと接続されているか確認してください。
- パソコンの電源が入っているか確認してください。
- パソコンがスタンバイ（スリープ）や休止状態に入っている場合は解除してください。
- パソコンのOSがWindows 8.1の場合はWindows Updateで最新の状態にしてください。
- パソコンを再起動することで症状が回復するかお試しください。
- ヘッドセットをリセットしてください。

関連項目

- [ヘッドセットを充電する](#)
- [リセットする](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

充電時間が長い

-
- ヘッドセットとパソコンがUSBハブなどを経由せずに直接つながれているか確認してください。
 - 出力電流1.5 A以上が供給可能な市販のUSB ACアダプターを使用しているか確認してください。
 - 付属のUSB Type-Cケーブルを使用しているか確認してください。
-

関連項目

- [ヘッドセットを充電する](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

使用時間が短い（電池の持続時間が短い）

- イコライザーやDSEE Extremeの機能を使用すると、ヘッドセットの使用可能時間が短くなります。
- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。長期にわたって保存する場合は、過放電防止のため、半年に1回程度の充電を行ってください。
- 周囲の温度が15 °C～35 °Cの範囲で充電することをおすすめします。この範囲を超えると、効率のよい充電ができないことがあります。それでも問題が解決しない場合は、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- 電池の持続時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の交換時期です。交換については、ソニーの修理相談窓口にご相談ください。

関連項目

- [使用可能時間](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ヘッドセットをパソコンにつないでも充電できない

- 付属のUSB Type-CケーブルがきちんとパソコンのUSB端子に接続されているか確認してください。
- ヘッドセットとパソコンがUSBハブなどを経由せずに直接つながれているか確認してください。
- 接続しているパソコンのUSB端子に問題がある可能性があります。パソコンに別のUSB端子がある場合は、その端子に接続しなおしてください。
- 上記に当てはまらない場合は、USB接続をしなおしてください。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

スマートフォンの画面にヘッドセットの充電式電池の残量が表示されない

- iPhone/iPod touchを含む、HFP (Hands-free Profile) をサポートしているiOS機器や、Android搭載スマートフォン (OS 8.1以降) のみ、充電式電池の残量が表示されます。
- スマートフォンがHFPで接続されているか確認してください。HFPで接続されていないと、充電式電池の残量が正常に表示されません。

関連項目

- [充電式電池の残量を確認する](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

音が出ない

- 接続先の機器とヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
 - 音楽を再生するときは、ヘッドセットと送信側Bluetooth機器がA2DPでBluetooth接続されているか確認してください。
 - パソコンのビデオ通話用アプリを使用するときは、ヘッドセットとパソコンがHFPやHSPでBluetooth接続されているか確認してください。（A2DPは音楽再生の接続です。）
お使いのビデオ通話用アプリによっては、マイクの設定ができない場合があります。その場合は、スピーカ・トウ・チャットを無効にしてください。
 - マルチポイント接続で2台の機器と同時に接続しているとき、接続した機器によっては、音楽や動画などの再生を停止しても無音の信号を送り続けるものがあります。この場合、ヘッドセットはその機器と接続したままになり、別の機器に音が切り替わらないことがあります。1台目の機器で再生を停止しても、2台目の機器から音が聞こえない場合は、以下の順にお試しいただき、改善されるかご確認ください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリで、[2台の機器と同時に接続] がオンになっていることを確認する。
 - 1台目の機器のアプリケーションで再生を停止する。
 - 1台目の機器のアプリケーションを終了する。
 - ヘッドホンケーブルのプラグがしっかりと差し込まれているか確認してください。
 - 音量が小さすぎるときは音量を上げてください。
 - 接続先の機器で正しく再生されているか確認してください。
 - パソコンと接続しているとき、パソコンの音声出力先はBluetooth機器になっているか確認してください。
 - Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度機器登録（ペアリング）してください。
 - スピーカ・トウ・チャットが有効になっていると、ヘッドセットを耳に装着していないくても、再生中の音声（特に語学教材の会話音声など）に反応してスピーカ・トウ・チャットモードが起動することがあります。この場合は、ヘッドセットのボタンやタッチパネルを操作して、スピーカ・トウ・チャットモードを終了してください。
 - ヘッドセットをリセットしてください。
 - ヘッドセットを充電してください。充電した後、ヘッドセットから音が出るか確認してください。
 - ヘッドセットを初期化し、もう一度機器登録をしてください。
 - スマートフォンやパソコンなどの再生機器を再起動すると症状が改善する場合があります。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [付属のヘッドホンケーブルをつないで使う](#)
- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーカ・トウ・チャット）](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

音が小さい

- 接続先の機器とヘッドセットの音量を調節してください。
- Bluetooth機器とヘッドセットをもう一度接続し直してください。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

音質が悪い

- 再生機器の音量が大きすぎる場合は、音量を下げてください。
 - ヘッドセットを電子レンジや無線LAN機器などから離してください。
 - ヘッドセットをBluetooth機器に近づけてください。ヘッドセットとBluetooth機器との間に障害物があるときは障害物を避けてください。
 - テレビから離れてください。
 - 音楽を再生するときは、ヘッドセットと送信側Bluetooth機器がHFPやHSPでのBluetooth接続になっていたら、接続機器を操作してA2DPでのBluetooth接続に切り替えてください。
 - パソコンのビデオ通話用アプリを使用するときは、パソコンを操作してHFPやHSPでのBluetooth接続に切り替えてください。
- ビデオ通話時は、通信回線の影響により、音質が悪くなる場合があります。
- ラジオやチューナーを内蔵した機器につなぐと、放送が受信できなかったり、感度が低下したりすることがあります。機器から離してください。
 - ヘッドセットを前回接続していたBluetooth機器に接続する場合は、ヘッドセットの電源を入れたときHFP/HSPのみBluetooth接続される場合があります。接続機器を操作して、A2DPでBluetooth接続してください。
 - ヘッドセットを使ってパソコンの音楽を聞く際、最初の数秒間のみ音質が悪い場合（例えばボーカルの声が聞こえにくい、など）があります。これはパソコンの仕様（通信開始時は通話優先で接続し、数秒後に音質優先に切り替わる）であり、ヘッドセットの故障ではありません。
 - もし数秒たっても音質が悪い場合は、パソコン側でA2DPでの接続操作をしてください。パソコンの操作については、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
 - “Sony | Headphones Connect”アプリで [2台の機器と同時に接続] をオンにしているときは、LDACは使用できません。音楽再生時にLDACを使用したいときは、[2台の機器と同時に接続] をオフにしてください。

関連項目

- [Bluetooth接続した機器の音楽を聞く](#)
- [パソコンでビデオ通話する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)
- [2台の機器と同時に接続する（マルチポイント接続）](#)
- [対応コーデックについて](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

音が途切れやすい

- ヘッドセットを接続優先モードに設定してください。詳しくは、「[音質モードについて](#)」をご覧ください。
- 接続するBluetooth機器のアンテナ部と、ヘッドセットの内蔵アンテナ部分との間に障害物がある場合は、障害物を避けてください。ヘッドセットのアンテナは、下記の図で点線で示した位置に内蔵されています。



A : 内蔵アンテナの位置

- Bluetooth通信は以下の状況において、ノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。
 - ヘッドセットとBluetooth機器の間に人体がある場合
この場合は、ヘッドセットのアンテナと同じ方向にBluetooth機器を置くとBluetooth通信が改善されます。
 - ヘッドセットとBluetooth機器の間に金属、壁などの障害物がある場合
 - 無線LANが構築されている場所や、電子レンジを使用中の周辺、その他電磁波が発生している場所など
 - 駅構内や満員電車の中など他の無線通信オーディオ機器や人体が近くにある場合
- 送信機器のワイヤレス再生品質設定の変更や、ワイヤレス再生モードをSBC固定に変更することにより改善される場合があります。詳しくは送信機器の取扱説明書をご覧ください。
- Bluetooth機器と無線LAN (IEEE802.11b/g/n) は同一周波数帯 (2.4 GHz) を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉のためノイズや音途切れが発生したり、接続できなくなることがあります。この場合、次の対策を行ってください。
 - ヘッドセットとBluetooth機器を接続するときは、無線LANから10 m以上離れたところで行う。
 - 10 m以内で使用する場合は、無線LANの電源を切る。
 - ヘッドセットとBluetooth機器をできるだけ近付ける。
- スマートフォンやパソコンなどで音楽を聞いているときは、不要なアプリをシャットダウンしたり、スマートフォンやパソコンなどの再生機器を再起動すると症状が改善する場合があります。
- ヘッドセットとお使いのBluetooth機器をもう一度接続し直してください。

関連項目

- [音質モードについて](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

ノイズキャンセリング効果が得られない

- ノイズキャンセリング機能がオンになっているか確認してください。
- ヘッドセットをぴったりと耳に装着させてください。
- ノイズキャンセリング機能は、飛行機・電車・オフィス・エアコンなどの低周波数域の騒音に効果的ですが、人の話す声など、高周波数域の騒音に対しては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- アダプティブサウンドコントロールがオフになっているか確認してください。
“Sony | Headphones Connect”アプリでアダプティブサウンドコントロールの設定を確認してください。アダプティブサウンドコントロールがオンになっていると、ノイズキャンセリングの効果が弱くなる場合があります。
- “Sony | Headphones Connect”アプリで【外音コントロール】の設定を確認してください。【風ノイズ低減】や【外音取り込み】に設定されていると、ノイズキャンセリング効果も低減されます。ノイズキャンセリングモードに設定してください。
- スピーカー・トゥ・チャットを無効にして症状が改善するかお試しください。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでCUSTOM（カスタム）ボタンの機能が【外音コントロール】に設定されているか確認してください。

関連項目

- [ノイズキャンセリング機能とは](#)
- [ノイズキャンセリング機能を使う](#)
- [ヘッドセットを装着する](#)
- [“Sony | Headphones Connect”アプリでできること](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

機器登録（ペアリング）できない

- ヘッドセットとBluetooth機器の距離を1 m以内に近づけてください。
- お買い上げ時やヘッドセットを初期化した後、修理返却後などに1台目を登録するときはヘッドセットの電源を入れると自動的に機器登録（ペアリング）モードになります。2台目以降の機器を登録する場合は、ヘッドセットの（電源）ボタンを7秒以上押したままにして機器登録モードに設定する必要があります。
- ヘッドセットを初期化した後や修理返却後に機器を登録しなおす場合、接続する機器にヘッドセットの登録情報が残っていると機器登録できない場合があります（iPhoneなど）。その場合は接続する機器に登録されているヘッドセットの情報を削除してから機器登録を行ってください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [初期化する](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ワンタッチ接続 (NFC) が動作しない

- スマートフォン／ウォークマンが反応するまでヘッドセットのN-Markに近づけたままにしてください。それでも反応しない場合は、スマートフォン／ウォークマンをゆっくり前後左右に動かしてください。
- スマートフォン／ウォークマンのNFC機能がオンになっているか確認してください。
- スマートフォン／ウォークマンにケースを付けている場合は、ケースを外してください。
- NFCの受信感度は、お使いのスマートフォン／ウォークマンによって異なります。接続に何度も失敗する場合は、スマートフォン／ウォークマンを操作して接続／切断してください。
- 充電中はヘッドセットの電源が入らないためワンタッチ接続 (NFC) ができません。充電を終了してからワンタッチ接続 (NFC) してください。
- ヘッドホンケーブル入力端子にヘッドホンケーブルが接続されている状態ではワンタッチ接続 (NFC) ができません。ヘッドホンケーブルを外してからワンタッチ接続 (NFC) してください。
- 接続機器がNFC機能に対応しているか確認してください。
- スマートフォン／ウォークマンのBluetooth機能がオンになっているか確認してください。

関連項目

- [ワンタッチ \(NFC\) でAndroid搭載スマートフォンと接続する](#)
- [ワンタッチ \(NFC\) でウォークマンと接続する \(NFC対応モデル\)](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

Bluetooth接続ができない

- ヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- Bluetooth機器の電源が入っていてBluetooth機能がオンになっていることを確認してください。
- ヘッドセットが前回接続していた別のBluetooth機器と自動的に接続されたときは、Bluetooth接続に失敗することがあります。その場合は、前回接続していたBluetooth機器を操作してBluetooth接続を切断してください。
- Bluetooth機器がスリープ状態になっていないか確認してください。スリープ状態になっている場合は解除してください。
- Bluetooth接続が切断されていないか確認してください。切断されている場合は、もう一度Bluetooth接続を開始してください。
- Bluetooth機器側でヘッドセットの接続履歴情報を削除した場合、もう一度機器登録（ペアリング）が必要です。
- スマートフォンやパソコンなどの再生機器を再起動すると症状が改善する場合があります。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

音がひずむ

- ヘッドセットを電子レンジや無線LAN機器などから離してください。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ヘッドセットを操作できない

- ヘッドセットを装着しないと、タッチセンサーコントロールパネルを操作できません。ヘッドセットを装着してからタッチセンサーコントロールパネルを操作してください。
- 上を向いた状態や下を向いた状態でヘッドセットを装着したり、ヘッドセットを逆さまにして装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルやCUSTOM（カスタム）ボタンを操作できない場合があります。前を向いてヘッドセットを正しく装着するか、（電源）ボタンを短く押してください。
- ヘッドセットを帽子やマフラー、髪の毛などの上から装着した場合、装着検出が正しく動作せず、タッチセンサーコントロールパネルを操作できない場合があります。耳がイヤーパッド内に入るように装着してください。
- ヘッドセットをリセットしてください。この操作をしても、機器登録（ペアリング）情報は削除されません。
- リセットしても操作できないときは、ヘッドセットを初期化してください。

関連項目

- [ヘッドセットを装着する](#)
- [リセットする](#)
- [初期化する](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット

WH-1000XM4

通話相手の声が聞こえない

- 接続先の機器とヘッドセットの電源が入っているか確認してください。
- 接続先の機器とヘッドセットの音量が小さすぎるときは音量を上げてください。
- 通話中にヘッドセットから音が出るようになっているか、Bluetooth機器の音声設定を確認してください。
- Bluetooth機器を操作して接続しなおしてください。プロファイルは、HFPまたはHSPを選んでください。
- ヘッドセットで音楽を聞いているときは再生を停止して、ヘッドセットのタッチセンサーコントロールパネルをすばやく（約0.4秒間隔で）2回タップして着信に応答してください。

関連項目

- [Bluetooth接続をするには](#)
- [電話を受ける](#)
- [電話をかける](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

通話相手からの声が小さい

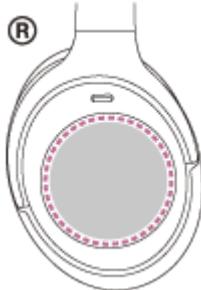
- 接続先の機器とヘッドセットの音量を調節してください。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

タッチセンサーコントロールパネルが誤動作する

- タッチセンサーコントロールパネルのセンサーは、右ユニットの平らな面に内蔵されています。操作するときは、センサーの範囲内で行ってください。



- タッチセンサーコントロールパネル上で指を前後または上下にすべらせるとき、ヘッドセットを耳に装着したときの角度や頭の向きにより、正しく動作しない場合があります。
 - 指を前後にすべらせるときは、ヘッドバンドに対して垂直に動かしてください。



- 指を上下にすべらせるときは、ヘッドバンドに対して平行に動かしてください。



ご注意

- 付属のヘッドホンケーブルをつないでヘッドセットの電源を入れてお使いのときは、クイックアテンションモードやスピーク・トゥ・チャットは使用できますが、音量調節、再生／一時停止などの操作はできません。
- 指の爪や手袋をはめた手で操作しても正しく動作しません。手袋を外し、指の腹で操作してください。
- ヘッドセットを耳に装着していない状態ではタッチセンサーコントロールパネルの操作はご使用になれません。
- “Sony | Headphones Connect”アプリでタッチセンサーコントロールパネル設定が有効になっていることを確認してください。
- スピーク・トゥ・チャットが有効に設定されている場合、ヘッドセットの装着者の声に反応して自動的に音楽の再生が一時停止し、外音取り込み機能（アンビエントサウンドモード）に切り替わりますが、故障ではありません。
- パソコンとの接続時、パソコンのアプリケーションによってはタッチセンサーコントロールパネルで操作できない場合がありますが、故障ではありません。パソコンのアプリケーションで操作してください。

- 通話中にクイックアテンションモードは使用できません。

関連項目

- [ヘッドセットを耳に装着したまま会話をする（スピーク・トゥ・チャット）](#)

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

ヘッドセットが誤動作する

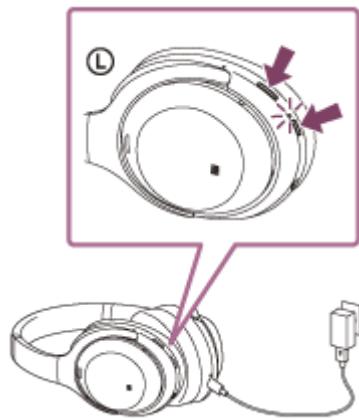
- パソコンとの接続時、パソコンのアプリケーションによっては、ヘッドセットを取り外しても音楽の再生が一時停止しない場合がありますが、故障ではありません。パソコンのアプリケーションで音楽の再生を停止してください。
- 突然外音が聞こえるなど、意図せず動作が切り替わる場合は、“Sony | Headphones Connect”アプリで【外音コントロール】の設定を確認してください。【風ノイズ低減】や【外音取り込み】に設定されていると、ノイズキャンセリング効果も低減されます。ノイズキャンセリングモードに設定してください。

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

リセットする

ヘッドセットの電源が入らない、または電源が入っているのに操作ができない場合は、充電中に  (電源) ボタンと CUSTOM (カスタム) ボタンを同時に押してください。ヘッドセットがリセットされます。機器登録 (ペアリング) 情報は削除されません。



症状が改善されないときはヘッドセットを初期化してください。

関連項目

- [初期化する](#)

ワイヤレスノイズキャンセリングステレオヘッドセット
WH-1000XM4

初期化する

ヘッドセットをリセットしても症状が改善されないときは、初期化してください。

USB Type-Cケーブルがヘッドセットに接続されていない状態でヘッドセットの電源を切り、 (電源) ボタンと CUSTOM (カスタム) ボタンを同時に7秒以上押したままにしてください。

ランプ (青) が4回点滅し (● ● ● ●) 、ヘッドセットが初期化されます。音量調節などを工場出荷時の設定に戻し、すべての機器登録 (ペアリング) 情報を削除します。この場合は接続相手の機器からヘッドセットの登録を一度削除してもう一度機器登録をしてください。

初期化しても動作が改善されないときは、ソニーの相談窓口またはお買い上げ店へお問い合わせください。

ご注意

- お買い上げ後にソフトウェアをアップデートした場合は、ヘッドセットを初期化してもアップデートした状態が保持されます。
- 音声ガイダンスの言語を変更した状態でヘッドセットを初期化すると、言語も初期状態に戻ります。

関連項目

- 電話・ファックスで問い合わせる

5-013-731-01(7) Copyright 2020 Sony Corporation